

77R&C

調査月報

2025.

12

■ 県内経済動向 ----- 1

■ 主要経済指標 ----- 12

■ 経済日誌 ----- 16

■ 年末付録 ----- 17

- ① 県内経済の十大ニュース
- ② 2025年の主な出来事

七十七リサーチ&コンサルティング株式会社

県内経済の基調判断

最近の県内景況をみると、総じて足踏みしている。

概況

生産は一進一退の動きとなっている。需要面の動きをみると、公共投資は持ち直しの動きとなっている。住宅投資は下げ止まりつつある。個人消費は一部に持ち直しの動きもみられるが、総じて弱含んでいる。雇用情勢は弱さがうかがわれるものとなっている。

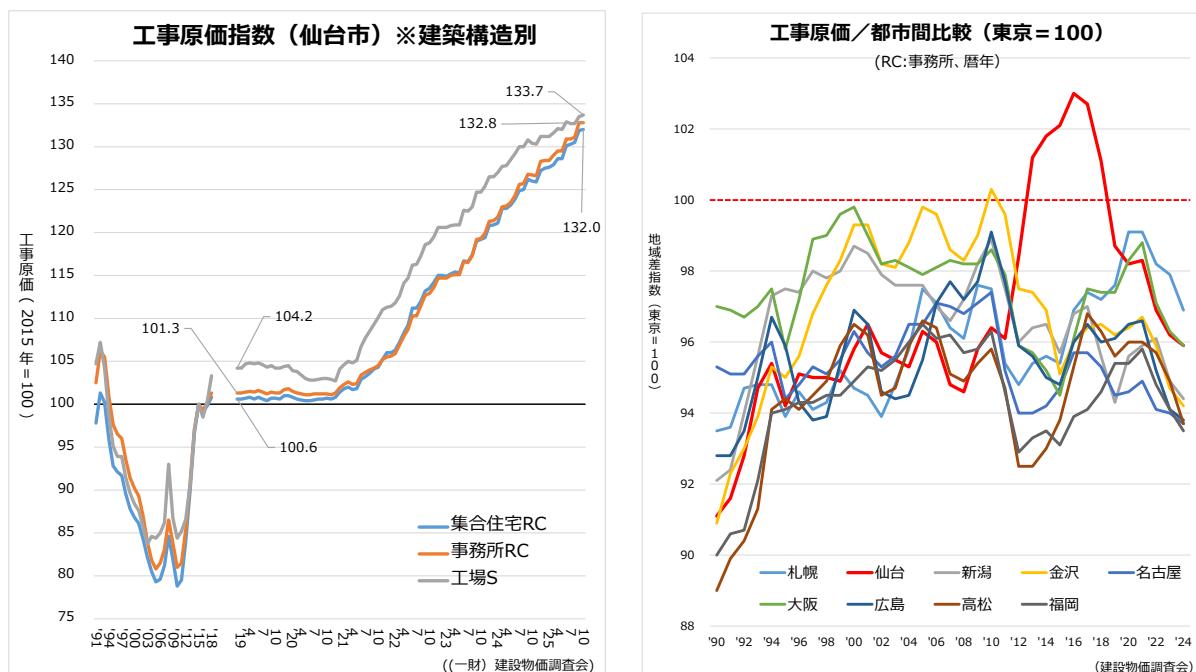
(参考) 県内景況判断の推移

	2025年10月	11月	12月
総括判断	総じて足踏みしている (据え置き)	総じて足踏みしている (据え置き)	総じて足踏みしている (据え置き)
生産	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる	振れを伴いつつ、全体として持ち直しに向けた動きがみられる	<u>一進一退の動きとなっている</u>
公共投資	持ち直しの動きとなっている	持ち直しの動きとなっている	持ち直しの動きとなっている
住宅投資	反動などから大幅に減少している	反動などから大幅に減少している	<u>下げ止まりつつある</u>
個人消費	一部に持ち直しの動きもみられるが、総じて弱含んでいる	一部に持ち直しの動きもみられるが、総じて弱含んでいる	一部に持ち直しの動きもみられるが、総じて弱含んでいる
雇用情勢	弱さがうかがわれるものとなっている	弱さがうかがわれるものとなっている	弱さがうかがわれるものとなっている
企業況感	2025年1~3月	4~6月	7~9月
	<u>持ち直しの動きが鈍化し、厳しさがうかがわれるものとなっている</u>	持ち直しの動きが鈍化し、厳しさがうかがわれるものとなっている	<u>厳しさが残るもの、下げ止まりの動きとなっている</u>

注) 下線は前月(回)からの変更箇所

今月のポイント

県内経済浮揚の起爆剤となるはずの仙台市内中心部の再開発が暗礁に乗り上げつつあります。さくら野仙台店跡地の再開発は白紙、閉店した大規模商業施設などの計画も未定のままであり、仙台市が整備を予定している「音楽ホール・震災メモリアル拠点」の事業費も2年前から約200億増加するなど、様々なプロジェクトが「建設費の呪い」に苦しんでいます。この5年間で仙台市の工事原価は3割も上昇、復興期には東京を上回っていた建築コストは全国的にもいまなお高めで、今後も下げる要素は少なく、さらなる上昇の可能性さえあります。再開発を「地域再生の切り札」とするために既存計画の見直しなど、早めに手を打つ必要があると言えます。



(全国、東北経済の基調判断) <要約>

	月例経済報告（全国）	経済の動き（東北）
景気全体	米国の通商政策による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復している (11月26日)	持ち直している (11月20日)
個人消費	持ち直しの動きがみられる	緩やかに回復している
設備投資	緩やかに持ち直している	増加している
住宅投資	弱含んでいる	減少している
公共投資	堅調に推移している	持ち直している
生産	横ばいとなっている	持ち直している
雇用	改善の動きがみられる	改善している

注) 下線部は上方修正(↗)または下方修正(↘)

(出所:内閣府、日銀仙台支店)

77B I

77B I(暫定値)は、弱めの動きとなっている。

10月の77B I(暫定値)は、前月比0.1ポイント上昇の99.0となった。

採用指標別にみると、有効求人倍率は前月比低下したが、宮城県消費動向指数、建築物着工床面積は前月比上昇した。また、9月の鉱工業生産指数は前月比低下した。

一方、移動平均値(3カ月後方)は、前月比0.3ポイント低下の99.4となった。

前月に大きく落ち込んだまま低位な水準となっています。消費動向指数は上昇したもののが有効求人倍率が低下を続け、重ishとなっています。



77B I (季節調整値、2020年=100)			
	2025年8月	9月	10月
B I 値	100.3	98.9	99.0
鉱工業生産指数	102.7	99.7	99.7
宮城県消費動向指数	102.5	99.4	101.4
建築物着工床面積	59.9	22.2	31.7
有効求人倍率	92.3	89.9	87.5

[参考] 77PCI (広域圏別景気指数)			
	2025年8月	9月	10月
仙南圏	▲ 0.2	▲ 0.6	0.4
仙台圏	▲ 1.8	▲ 0.1	▲ 0.2
大崎圏	▲ 0.1	0.2	▲ 0.2
栗原・登米圏	▲ 0.04	0.2	▲ 0.2
石巻・気仙沼圏	0.05	▲ 0.03	▲ 0.5

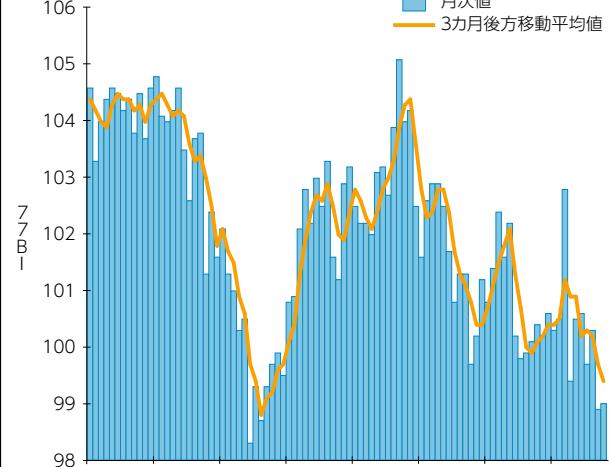
※77B Iは、2024年8月公表分より基準年を変更(2020年=100)し、すべての指標を遡って改訂しました。今後、指標の妥当性の検証等により再度遡って改訂することがありますので、予めご了承ください。

77B I

季調値: 2020年=100

月次値

3カ月後方移動平均値



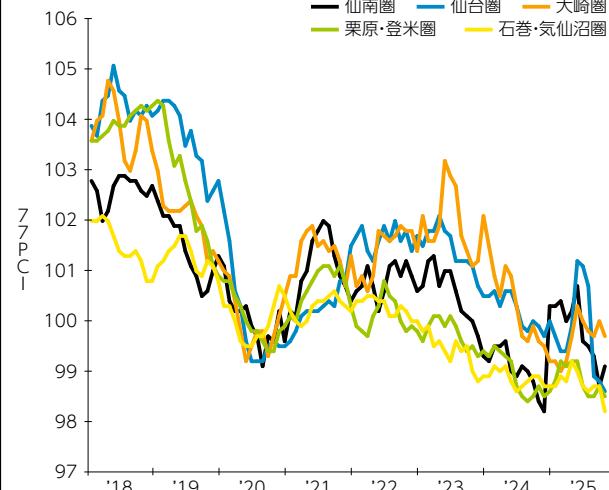
出典: 当社作成 (以下も同じ)

[参考] 77PCI

季調値: 2020年=100

仙南圏 仙台圏 大崎圏

栗原・登米圏 石巻・気仙沼圏



出典: 当社作成 (以下も同じ)

生産動向

鉱工業生産指数は、一進一退の動きとなっている。

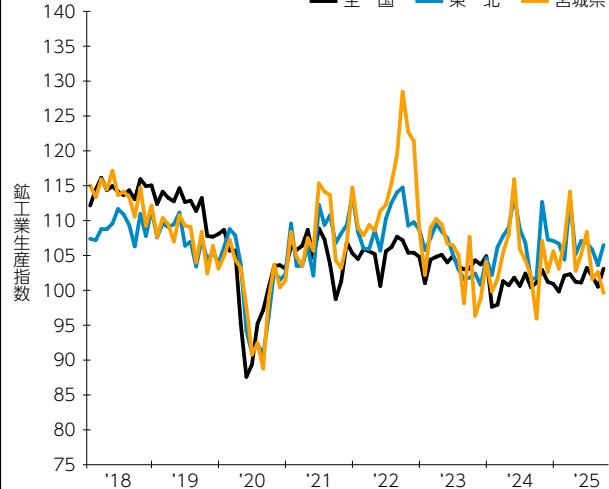
9月の鉱工業生産指数は、前月比2.9%低下の99.7となった。業種別にみると、汎用・生産用・業務用機械工業が前月比マイナスとなったことなどから、2カ月ぶりに前月を下回った。

一方、前年と比較すると、汎用・生産用・業務用機械工業が前年を上回ったことなどから、全体では前年比5.8%の上昇となり、3カ月ぶりに前年を上回った。

鉱工業生産指数

季調値: 2020年=100

全 国 東 北 宮城県



出典: 宮城県企画部「宮城県鉱工業生産指数」(以下も同じ)

鉱工業生産指数

(2020年=100、季節調整済、前年比:%)

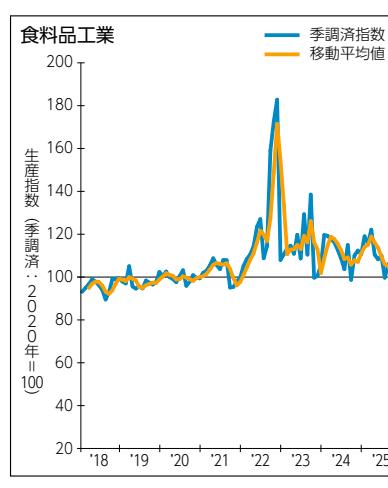
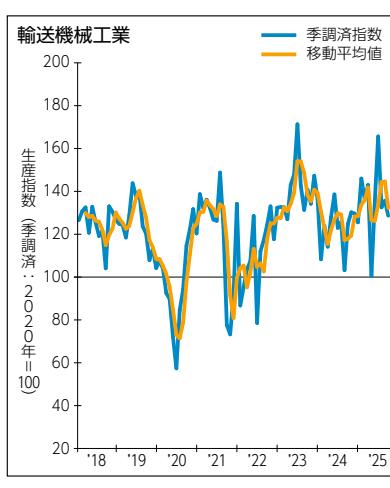
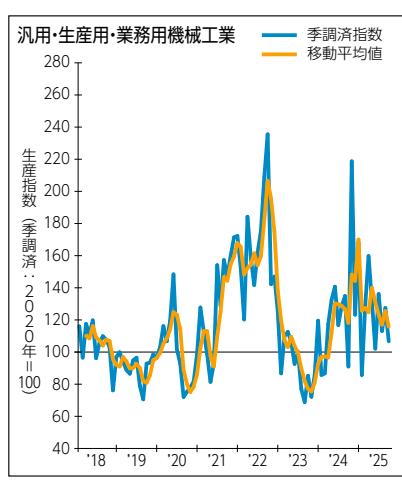
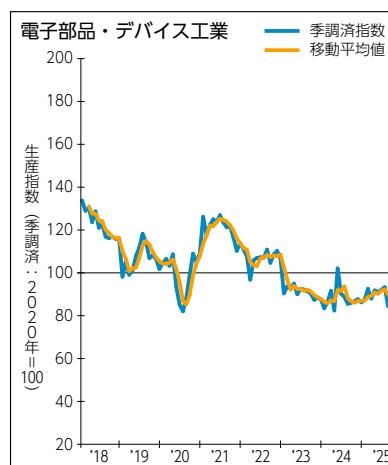
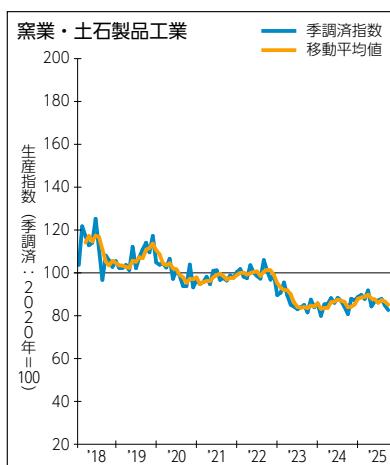
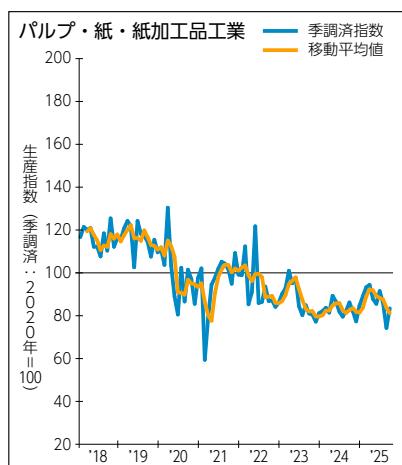
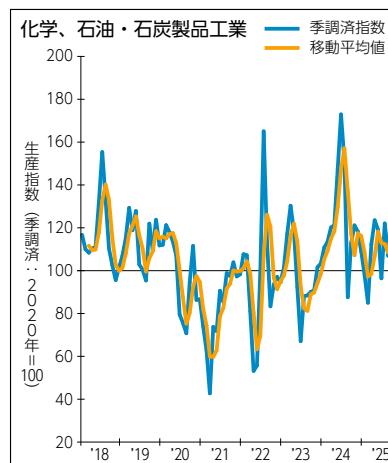
	2025年7月	8月	9月
宮城県	101.7	102.7	99.7
(前年比)	▲ 2.6	▲ 1.3	5.8
東北	105.9	103.7	106.6
(前年比)	▲ 1.0	0.4	6.4
全国	102.1	100.6	103.2
(前年比)	▲ 0.4	▲ 1.6	3.8

主要業種別生産動向(宮城県)

(2020年=100、季節調整済、前年比:%)

業種	2025年7月	8月	9月
化学、石油・石炭製品工業	122.1	107.0	127.6
(前年比)	▲ 19.3	21.7	13.4
パルプ・紙・紙加工品工業	85.8	74.2	83.4
(前年比)	8.0	▲ 7.9	▲ 5.1
窯業・土石製品工業	87.8	84.8	82.6
(前年比)	1.1	▲ 1.6	4.9
電子部品・デバイス工業	93.3	84.4	89.3
(前年比)	5.2	▲ 3.0	5.6
汎用・生産用・業務用機械工業	113.0	127.4	106.6
(前年比)	▲ 12.2	▲ 9.3	22.2
輸送機械工業	132.6	135.7	128.7
(前年比)	5.4	26.3	7.3
食料品工業	99.7	106.0	101.0
(前年比)	▲ 3.9	▲ 8.0	2.5

電子部品・デバイスが前月の反動で増加した一方、汎用・生産用・業務用機械が半導体製造装置で下振れしたほか輸送機械や食料品など他の主力業種も低下し、12カ月ぶりに指数が100を割り込みました。全体として振れを伴った横ばい圏内の動きとなっています。



建設動向

公共工事請負金額は持ち直しの動きとなっている。

住宅着工は下げ止まりつつある。建築物着工は低調なものとなっている。

公共工事

10月の公共工事請負金額は、前年同月比80.8%増の388億円となり、3カ月ぶりに前年を上回った。

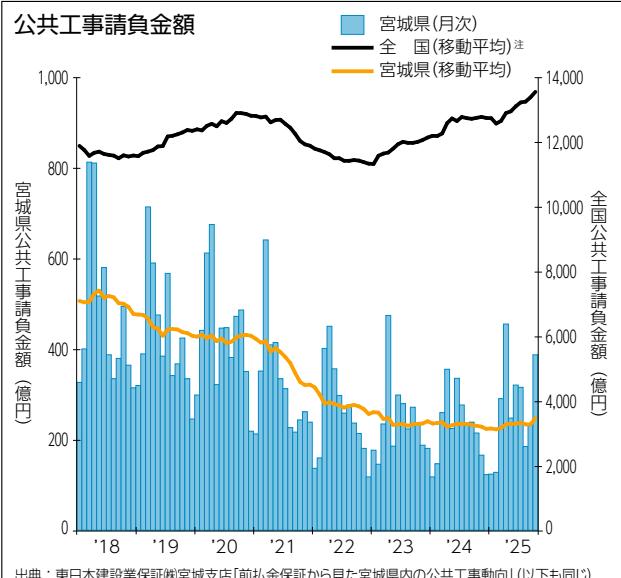
発注者別にみると、国の機関では、同12.7%増の23億円と前年を上回った。

一方、地方の機関は、県が同59.7%増の95億円、市町村等は同2.0倍の270億円となり、全体で同88.1%増の365億円と前年を上回った。

一大プロジェクトである仙台市役所本庁舎の第1期工事が計上されたほか、学校・大学関係の工事が重なり、請負額は大きく上振れしました。



公共工事請負金額



注) 12カ月後方移動平均値、以下のグラフも断りのない限り同じ

公共工事請負金額(発注者別)

(前年比、%)

	2025年8月	9月	10月
宮城県	▲ 20.4	▲ 1.0	80.8
国の機関	▲ 32.1	24.7	12.7
県	31.6	12.1	59.7
市町村等	▲ 36.0	▲ 14.6	2.0倍
全国	2.7	12.5	18.1

住宅建設

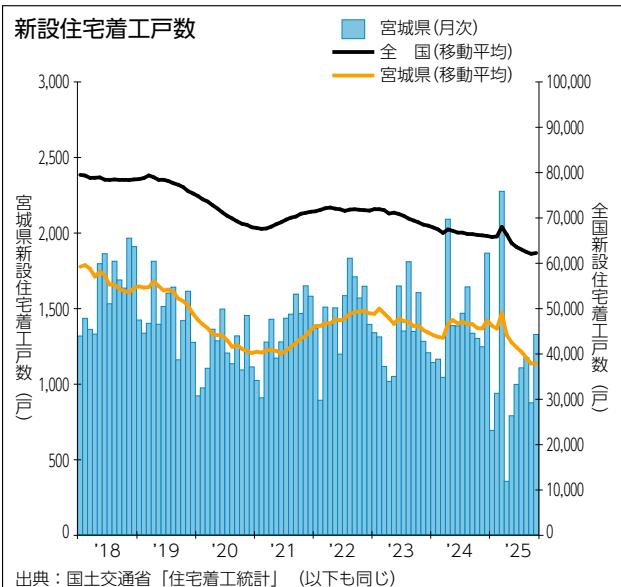
10月の新設住宅着工戸数は、前年同月比2.0%増の1,327戸(全国3.2%増、71,871戸)となり、7カ月ぶりに前年を上回った。

利用関係別にみると、持家が同3.0%減(290戸)、貸家が同10.4%減(706戸)と前年を下回ったが、分譲が同55.7%増(330戸)と前年を上回った。

持家や貸家はまだ前年割れですが、戸建て分譲が7カ月ぶりにプラス、マンションも4カ月連続で着工があり、需要の先食いとなった建築基準法改正前の駆け込みに伴う反動減は収束しつつあります。



新設住宅着工戸数



新設住宅着工戸数(利用関係別)

(前年比、%)

	2025年8月	9月	10月
宮城県	▲ 28.5	▲ 34.5	2.0
持家	▲ 9.8	▲ 27.1	▲ 3.0
貸家	▲ 45.1	▲ 40.2	▲ 10.4
分譲	▲ 13.3	▲ 24.0	55.7
全国	▲ 9.8	▲ 7.3	3.2

新設住宅着工戸数(市部・郡部別)

(前年比、%)

	2025年8月	9月	10月
市部	▲ 23.8	▲ 32.1	9.4
うち仙台市	▲ 27.8	▲ 25.6	6.4
うち仙台市以外	▲ 9.4	▲ 44.5	16.3
郡部	▲ 61.4	▲ 47.2	▲ 49.7

建築物着工

10月の建築物着工（民間非居住用）は、床面積が前年同月比41.1%減の21千m²、工事費予定額は同8.4%減の72億円となり、床面積は3カ月連続して、工事費予定額は5カ月連続して前年を下回っている。

用途別に床面積をみると、店舗（3千m²：前年同月比69.1%減）、工場（2千m²：同52.8%減）などが前年を下回った。

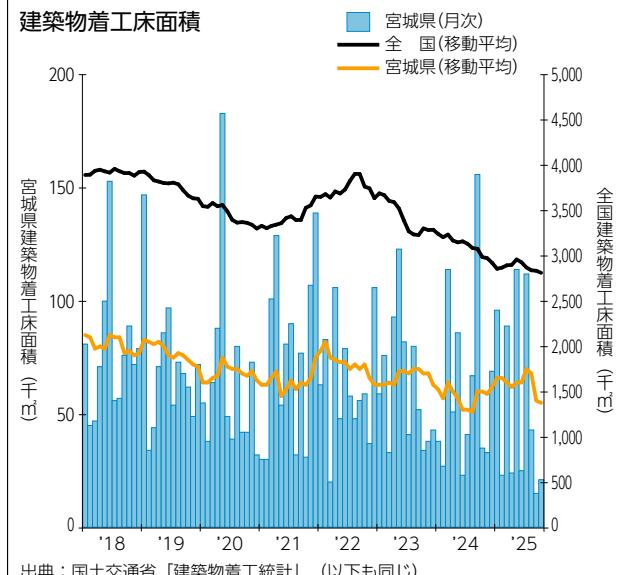
当月の床面積は過去最低だった前月とほぼ変わらず、民間設備（建設）投資の低調さが際立つ結果となっています。一方、工事費予定額の前年比（▲8.4%）は床面積（▲41.1%）に比べて小幅であり、「建築費の呪い」がうかがえるものとなっています。



建築物着工床面積（用途別） (前年比、%)

	2025年8月	9月	10月
宮城県	▲ 34.8	▲ 90.2	▲ 41.1
事務所	▲ 55.7	25.6	7.0
店舗	50.0	▲ 87.7	▲ 69.1
工場	▲ 52.1	▲ 94.7	▲ 52.8
倉庫	▲ 66.1	▲ 98.3	▲ 49.0
その他	2.5	▲ 62.5	▲ 33.8
全国	▲ 13.6	▲ 2.1	▲ 8.9

建築物着工床面積



(前年比、%)

建築物着工工事費予定額（用途別）

	2025年8月	9月	10月
宮城県	▲ 21.0	▲ 85.4	▲ 8.4
事務所	▲ 56.4	▲ 3.1	91.4
店舗	40.9	▲ 69.1	▲ 58.3
工場	▲ 34.7	▲ 94.0	▲ 25.7
倉庫	▲ 79.3	▲ 97.5	▲ 36.1
その他	31.2	▲ 57.2	▲ 19.4
全国	▲ 18.0	25.1	7.4

消費動向

宮城県消費動向指数、小売業主要業態販売はともに物価高による下押しが強まっている。乗用車新車販売は持ち直しの動きが鈍化している。

消費動向指数

10月の宮城県消費動向指数は、前月比2.0ポイント上昇の101.4となり、2カ月ぶりに上昇した。

消費費別にみると、「被服・履物」「教養娯楽」などが上昇した。

一方、移動平均値（3カ月後方）は、前月比1.8ポイント上昇の101.1となった。

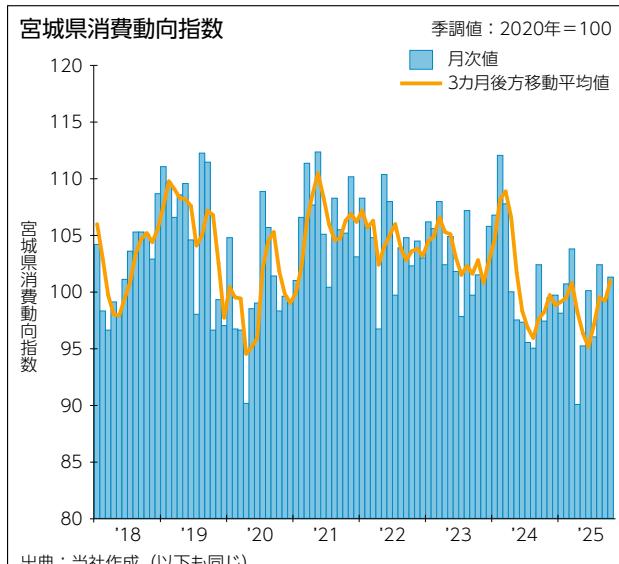
依然として家計は物価上昇による節約基調にありつつ、外食や宿泊などレジャー関連支出でやや動きがあり指数は上昇、移動平均値では7カ月ぶりに100を上回るなど、持ち直しがうかがわれる動きとなっています。



※消費動向指数は、宮城県内の個人消費動向をより的確に把握するため、総務省「家計調査報告」などを使用して、個人消費動向を需要側から捕捉する指標として、当社が独自に作成した指数。

※消費動向指数は、2024年8月公表分より基準年を変更（2020年=100）し、すべての指数を遡って改訂しました。今後、指数の妥当性の検証等により再度遡って改訂することがありますので、予めご了承ください。

宮城県消費動向指数



宮城県消費動向指数

	2025年8月	9月	10月
消費動向指数	102.5	99.4	101.4
家賃指数	111.1	110.1	110.4
乗用車販売指数	106.7	97.5	109.5
コア消費支出指数	114.8	105.2	109.8

小売業主要業態販売

10月の小売業主要業態

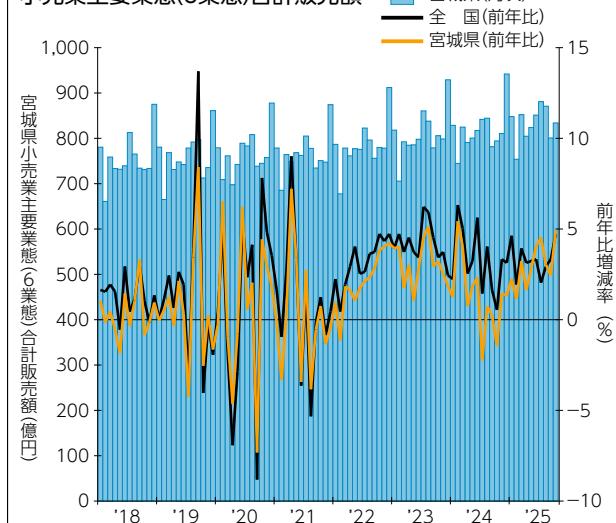
(6業態) の合計販売額 (全店ベース) は、前年同月比5.0%増の838億円 (全国4.8%増、4兆4,381億円) となり、12カ月連続して前年を上回っている。

業態別にみると、百貨店・スーパーは同2.8%増の345億円 (全国5.1%増) となり、10カ月連続して前年を上回っている。コンビニエンスストアは同2.2%増の212億円 (全国2.6%増) となり、12カ月連続して前年を上回っている。家電大型専門店は同18.3%増の59億円 (全国11.0%増) となり、6カ月連続して前年を上回っている。ドラッグストアは同12.0%増の168億円 (全国6.0%増) となり、5カ月連続して前年を上回っている。ホームセンターは同1.8%減の54億円 (全国0.2%増) となり、3カ月連続して前年を下回っている。

米価の高止まりや食品を中心とした値上げラッシュで日用品・食料品メインの業態は名目販売額が伸びたほか、家電はWindows10のサポート終了に伴うパソコンの買替特需があり、全体を1.1%ポイント押し上げました。



小売業主要業態(6業態)合計販売額



小売業主要業態販売額

(前年比、%)

	2025年8月	9月	10月
6業態合計(宮城県)	3.1	2.5	5.0
百貨店・スーパー	1.0	0.7	2.8
コンビニエンスストア	4.8	3.3	2.2
家電大型専門店	1.8	1.2	18.3
ドラッグストア	7.7	7.7	12.0
ホームセンター	▲ 1.5	▲ 3.9	▲ 1.8
6業態合計(全国)	3.0	3.4	4.8

注) 全店ベース

乗用車新車販売

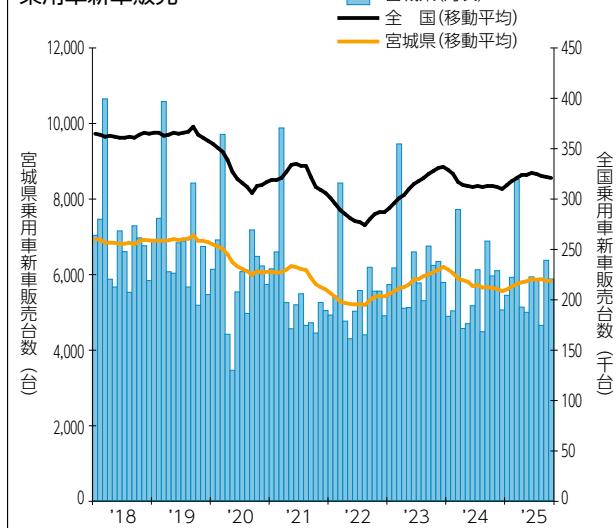
10月の乗用車新車販売台

数は、前年同月比1.4%減 (全国2.9%減) の5,879台となり、前月に引き続き前年を下回っている。車種別にみると、普通車は、同9.2%減 (全国8.4%減) の2,259台となり、4カ月連続して前年を下回っている。小型車は、同1.8%増 (全国5.9%減) の1,522台となり、2カ月ぶりに前年を上回った。また、軽乗用車は、同6.1%増 (全国7.2%増) の2,098台となり、2カ月ぶりに前年を上回った。

新型車の投入に乏しく全体として振るわないなか、これまで普通車が大半だった輸入車（逆輸入含む）で小型車の増加がみられており、今後の動向が注目されます。



乗用車新車販売



乗用車新車販売台数

(前年比、%)

	2025年8月	9月	10月
宮城県	3.7	▲ 7.4	▲ 1.4
普通車	▲ 3.1	▲ 5.9	▲ 9.2
小型車	0.4	▲ 10.4	1.8
軽乗用車	15.1	▲ 6.9	6.1
全国	▲ 8.2	▲ 2.5	▲ 2.9

観光動向

9月の延べ宿泊者数は、前年同月比2.9%減の861千人泊となり、6カ月ぶりに前年を下回った。

居住地別にみると、県内宿泊客は同1.0%減の185千人泊と2カ月ぶりに前年を下回り、県外宿泊客は同5.2%減の589千人泊と3カ月ぶりに前年を下回った。

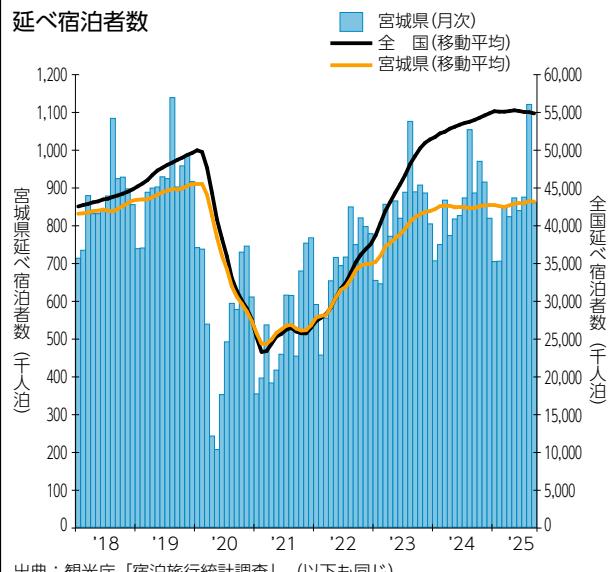
また、外国人の延べ宿泊者数は、同12.4%増の61千人泊となり、3カ月連続して前年を上回っている。

四半期ベースでは2期連続で前年を上回りましたが、当月の県外客の落ち込み（▲5.2%）が気になります。10月以降は秋の行楽シーズンで宿泊需要が増える時期ですが、物価高や熊被害などの下押し要因もあり、インバウンドだのみの状況は続きそうです。



延べ宿泊者数(居住地別) (千人泊)			
	2025年7月	8月	9月
宮城県	876	1,122	861
うち県内客	192	262	185
うち県外客	609	767	589
うち外国人	66	78	61
全国	55,747	65,985	53,105
うち外国人	13,979	13,847	12,570

延べ宿泊者数



水産動向

10月の主要4漁港（塩釜、石巻、気仙沼、女川）における水揚は、数量が前年同月比33.5%減の11千トン、金額が同25.5%減の52億円となり、数量は5カ月連続して、金額は4カ月連続して前年を下回っている。

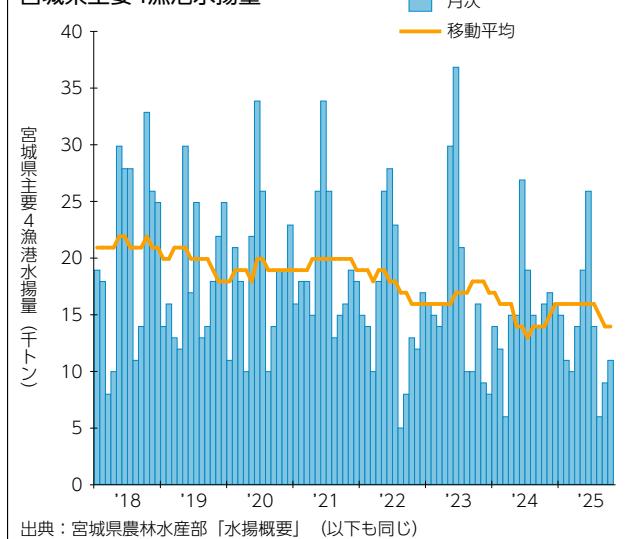
魚種別にみると、数量、金額ともカツオなどが減少した。

漁港別にみると、数量は全ての漁港が前年を下回った。金額は石巻が前年を上回ったが、塩釜、気仙沼、女川が前年を下回った。

延べ宿泊者数(居住地別) (前年比、%)

	2025年7月	8月	9月
宮城県	0.3	6.4	▲ 2.9
うち県内客	▲ 8.5	25.6	▲ 1.0
うち県外客	7.7	4.1	▲ 5.2
うち外国人	12.3	22.1	12.4
全国	▲ 2.6	▲ 0.4	▲ 3.6
うち外国人	▲ 4.2	3.8	1.3

宮城県主要4漁港水揚量



主要漁港水揚量

(前年比、%)

	2025年8月	9月	10月
合計	▲ 60.3	▲ 35.9	▲ 33.5
塩釜	▲ 47.7	68.4	▲ 19.6
石巻	▲ 37.5	▲ 31.1	▲ 26.4
気仙沼	▲ 69.9	▲ 56.9	▲ 44.5
女川	▲ 33.7	2.1倍	▲ 27.3

主要漁港水揚金額

(前年比、%)

	2025年8月	9月	10月
合計	▲ 33.2	▲ 14.5	▲ 25.5
塩釜	▲ 11.4	46.7	▲ 7.0
石巻	▲ 4.6	▲ 18.8	4.9
気仙沼	▲ 48.4	▲ 39.7	▲ 46.5
女川	▲ 54.6	2.3倍	▲ 41.5

貿易動向

10月の貿易額（仙台塩釜、石巻、気仙沼の各港および仙台空港における通関実績）

は、輸出が前年同月比12.8%増の374億円と3カ月連続して前年を上回っている。輸入が同20.9%増の1,057億円と3カ月連続して前年を上回っている。

当月も米国向け輸出は前年比3.3%増の95億円、当月までの暦年累計でも同3.9%増と関税の壁を乗り越えています。なお暦年累計での米国との貿易収支は381億円の赤字で、前年同期（257億円の赤字）から124億円膨らんでいます。



輸出額・輸入額

(前年比、%)

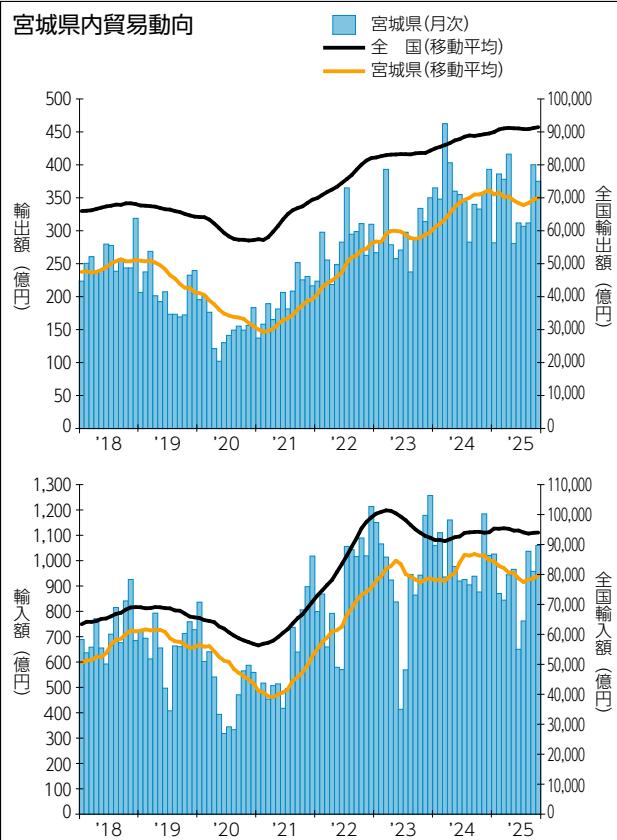
	2025年8月	9月	10月
宮城県	輸出	10.5	17.9
	輸入	14.6	2.0
全国	輸出	▲ 0.1	4.2
	輸入	▲ 5.1	3.3

各港の輸出額・輸入額

(前年比、%)

	2025年8月	9月	10月
仙台塩釜	輸出	11.7	18.0
	輸入	17.0	1.2
石巻	輸出	▲ 0.9	32.2
	輸入	▲ 17.9	11.8
気仙沼	輸出	▲ 88.4	▲ 88.7
	輸入	67.3	4.3倍
仙台空港	輸出	▲ 2.9	36.3
	輸入	0.9	▲ 59.4

宮城県内貿易動向



出典：財務省「財務省貿易統計」（以下も同じ）

物価動向

10月の仙台市消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）

は、前年同月比3.3%上昇の114.7となり52カ月連続して前年を上回っている。

費目別にみると、「生鮮食品を除く食料」「交通・通信」などが上昇した。

当月の相次ぐ値上げがあり、「生鮮食品を除く食料」の指数は初めての130超え、5年前の平均から3割上昇となりました。一方、白物家電などの「家庭用耐久財」は前年割れで108.1にとどまっており、家電量販店の競争が激しい市場動向を映し出しています。

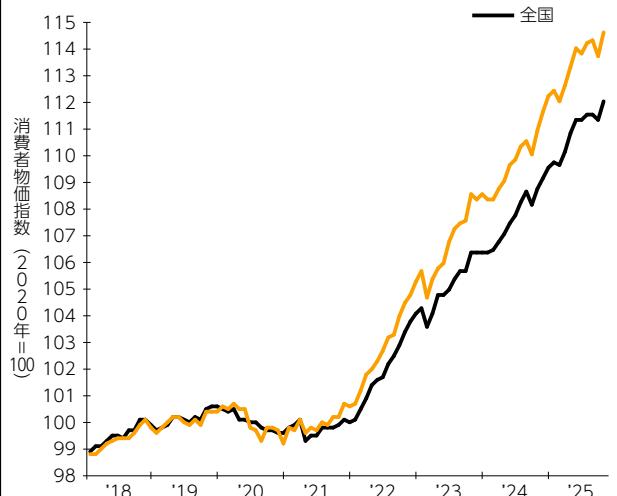


消費者物価指数（費目別）

(前年比、%)

	2025年8月	9月	10月
生鮮食品を除く食料	8.0	7.2	7.3
住居	3.2	2.0	0.8
光熱・水道	▲ 3.2	2.2	2.3
家具・家事用品	3.4	3.0	3.4
被服および履物	2.4	1.3	2.6
保健医療	0.7	0.9	0.4
交通・通信	3.4	3.2	3.7
教育	▲ 8.4	▲ 8.4	▲ 8.4
教養娯楽	3.3	2.5	3.4
諸雑費	1.3	1.3	1.0

仙台市消費者物価指数



注) 生鮮食品を除く総合

出典：宮城県企画部「仙台市消費者物価指数」（以下も同じ）

消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）

(前年比、%)

	2025年8月	9月	10月
仙台市	3.4	3.3	3.3
全国	2.7	2.9	3.0

雇用動向

雇用情勢は弱さがうかがわれるものとなっている。

10月の有効求人倍率（季節調整値）は、前月に比べ有効求人人数が減少したことなどから、前月比0.03ポイント低下の1.10倍となった。

また、新規求人数を産業別にみると、前年に比べてサービス業、医療、福祉などが減少した。

有効求人倍率（原数値）を職業安定所別にみると、築館（1.28倍）、仙台（1.25倍）などが1倍を上回っている一方、大河原（0.69倍）、塩釜（0.71倍）などは1倍を下回っている。

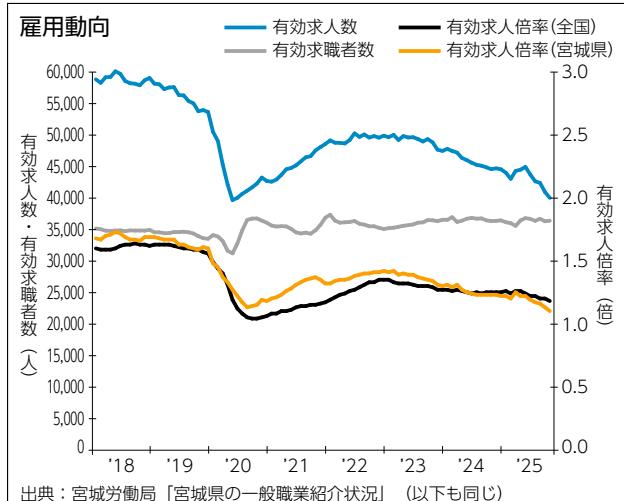
当月から最低賃金が1,038円に引き上げられ、新規求人の減少が止まりません。有効求人数（季調値）は5ヶ月連続で減少し、求職者数次第では1倍割れも視野に入ってくるほど労働需要は減退しています。



有効求人倍率等 (倍、%)

	2025年8月	9月	10月
有効求人倍率(宮城県)	1.16	1.13	1.10
(全国)	1.20	1.20	1.18
新規求人数(前年比)(宮城県)	▲ 12.3	▲ 8.2	▲ 9.6

注) 有効求人倍率は季節調整値、新規求人数は原数値



職業安定所別有効求人倍率 (原数値、倍)

	2025年8月	9月	10月
気仙沼	1.10	1.14	1.06
石巻	1.21	1.20	1.19
塩釜	0.68	0.69	0.71
仙台	1.27	1.25	1.25
大和	1.20	0.99	1.04
古川	0.98	1.01	1.00
築館	1.28	1.35	1.28
迫	0.78	0.78	0.81
大河原	0.71	0.70	0.69
白石	1.10	1.16	1.14

倒産動向

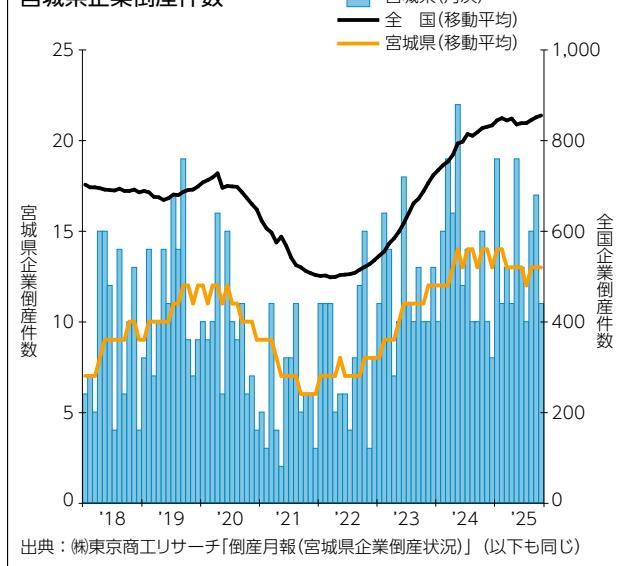
10月の企業倒産（負債総額1千万円以上）は、件数では前年同月比26.7%減の11件、負債額では56.0%増の21億円となった。

倒産企業を業種別にみると、建設業が4件、小売業が3件などとなっている。

主因別では、販売不振が8件、過小資本、既往のシワ寄せ（赤字累積）、売掛金等回収難が各1件となっている。

地域別では、仙台市が8件、石巻市、大崎市、亘理郡が各1件となっている。

宮城県企業倒産件数



企業倒産件数・負債額

	2025年8月	9月	10月
宮城県 件数	15	17	11
宮城県 負債額	2,394	4,843	2,137
全国 件数	805	873	965
全国 負債額	114,373	112,470	127,521

企業倒産件数・負債額

	2025年8月	9月	10月
宮城県 件数	50.0	70.0	▲ 26.7
宮城県 負債額	▲ 0.2	6.9倍	56.0
全国 件数	11.3	8.2	6.2
全国 負債額	12.8	▲ 15.3	▲ 49.6

人口動向

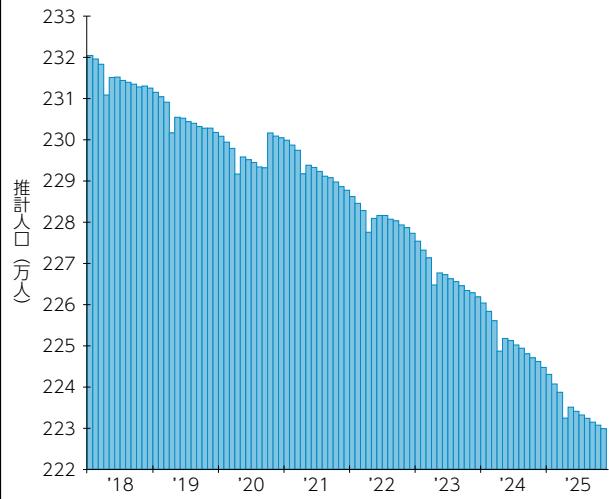
11月1日時点の宮城県の人口（推計人口）は、前年同月比16,390人減の222万9,867人となり、55カ月連続して前年を下回っている。

市町村別にみると、前年に比べて人口が増加したのは、利府町（61人増）、富谷市（36人増）などの4市町、減少したのは石巻市（2,351人減）、大崎市（1,818人減）など31市町村となっている。

人口動態別にみると、ここ1年間で自然増減は1万7,301人減、社会増減は911人増となった。

また、前月比では、自然増減は1,344人減、社会増減は494人増となり、社会増減を市町村別にみると、仙台市（503人増）、富谷市（59人増）など13市町村が増加し、東松島市（44人減）、石巻市（24人減）など22市町が減少した。

宮城県人口動向



宮城県人口

	2025年9月	10月	11月
総人口	2,231,453	2,230,717	2,229,867
自然増減	▲ 1,073	▲ 1,238	▲ 1,344
社会増減	137	502	494

注) 総人口は各月1日時点、自然・社会増減は前月中の増減数

宮城県内市町村の人口動向（推計人口）

（人、%）

	2025年11月	前年比		前月比		2025年11月	前年比		前月比		
		増減数	増減率	自然増減数	社会増減数		増減数	増減率	自然増減数	社会増減数	
宮城県	2,229,867	▲ 16,390	▲ 0.7	▲ 1,344	494	村田町	9,713	▲ 171	▲ 1.7	▲ 4	▲ 3
仙台市	1,094,909	▲ 1,170	▲ 0.1	▲ 393	503	柴田町	36,716	▲ 283	▲ 0.8	▲ 18	▲ 5
石巻市	129,353	▲ 2,351	▲ 1.8	▲ 155	▲ 24	川崎町	7,504	▲ 204	▲ 2.6	▲ 11	▲ 11
塩釜市	49,849	▲ 543	▲ 1.1	▲ 47	50	丸森町	10,577	▲ 284	▲ 2.6	▲ 25	▲ 20
気仙沼市	54,766	▲ 1,292	▲ 2.3	▲ 57	▲ 23	亘理町	32,132	▲ 392	▲ 1.2	▲ 26	▲ 14
白石市	29,626	▲ 593	▲ 2.0	▲ 31	▲ 7	山元町	11,261	▲ 144	▲ 1.3	▲ 9	▲ 5
名取市	79,039	30	0.04	▲ 6	44	松島町	12,322	▲ 188	▲ 1.5	▲ 10	▲ 3
角田市	25,638	▲ 571	▲ 2.2	▲ 29	2	七ヶ浜町	16,929	▲ 291	▲ 1.7	▲ 16	▲ 14
多賀城市	61,940	▲ 330	▲ 0.5	▲ 13	19	利府町	35,043	61	0.2	▲ 5	▲ 20
岩沼市	42,875	▲ 455	▲ 1.1	▲ 29	7	大和町	28,423	29	0.1	▲ 5	▲ 14
登米市	69,179	▲ 1,442	▲ 2.0	▲ 86	▲ 22	大郷町	7,242	▲ 136	▲ 1.8	▲ 5	▲ 2
栗原市	57,886	▲ 1,322	▲ 2.2	▲ 78	▲ 19	大衡村	5,478	▲ 11	▲ 0.2	0	▲ 13
東松島市	36,937	▲ 528	▲ 1.4	▲ 35	▲ 44	色麻町	6,023	▲ 113	▲ 1.8	▲ 5	▲ 4
大崎市	119,344	▲ 1,818	▲ 1.5	▲ 110	▲ 4	加美町	19,881	▲ 441	▲ 2.2	▲ 26	▲ 1
富谷市	51,602	36	0.1	▲ 5	59	涌谷町	13,769	▲ 288	▲ 2.0	▲ 20	▲ 11
蔵王町	10,432	▲ 217	▲ 2.0	▲ 14	▲ 3	美里町	22,345	▲ 331	▲ 1.5	▲ 26	▲ 2
七ヶ宿町	1,101	▲ 59	▲ 5.1	0	▲ 9	女川町	5,914	▲ 104	▲ 1.7	▲ 11	▲ 8
大河原町	23,151	▲ 160	▲ 0.7	▲ 13	▲ 2	南三陸町	10,968	▲ 314	▲ 2.8	▲ 21	▲ 5

※「推計人口」とは、国勢調査人口をベースとして、住民基本台帳法に基づき届出等があった出生・死亡、転入・転出の数（日本人のほか外国人も含む）を加減して算出した人口（推計人口は各月1日時点）

自然増減数＝出生者数－死者数　社会増減数＝転入者数－転出者数

主要経済指標

	人口 宮城県 (千人)	世帯数 宮城県 (千世帯)	77BI (2020年 =100)	景気動向 指標(CI)	景気ウォッチャー調査 現状判断(方向性)DI	鉱工業生産指指数 (2020年=100、季節調整値)												
						宮城県			東北			全国			宮城県			
						全 国	全 国	東 北	全 国	全 国	東 北	全 国	全 国	全 国	宮城県	東 北	全 国	
2023年	2,216	1,026	101.6													- 8.6	- 4.2	- 1.3
2024年	2,196	1,031	100.8													0.3	2.2	- 2.6
2022年度	2,223	1,021	103.2													4.5	1.5	- 0.3
2023年度	2,205	1,027	101.3													- 9.7	- 5.4	- 1.9
2024年度	2,185	1,032	100.7													2.7	3.7	- 1.4
'24年7~9月	2,201	1,032	99.9						100.8	103.5	101.4	- 8.4	- 6.4	0.3	- 3.8	1.3	- 1.8	
10~12月	2,196	1,031	100.4						105.2	109.1	101.8	4.4	5.4	0.4	7.1	6.6	- 1.5	
'25年1~3月	2,185	1,032	101.2						108.3	108.2	101.5	2.9	- 0.8	- 0.3	3.6	2.5	1.0	
4~6月	2,185	1,036	100.2						105.6	106.5	101.9	- 2.5	- 1.6	0.4	- 4.1	- 3.7	0.9	
7~9月	2,181	1,036	99.7						101.4	105.4	102.0	- 4.0	- 1.0	0.1	0.7	2.0	0.7	
2024年10月	2,199	1,032	100.4	115.7	47.0	43.9	107.2	112.8	103.0	11.7	10.7	1.8	15.2	11.6	0.8			
11月	2,197	1,032	100.2	115.2	48.6	45.5	102.7	107.4	101.3	- 4.2	- 4.8	- 1.7	3.0	5.0	- 3.3			
12月	2,196	1,031	100.6	116.3	49.0	45.1	105.7	107.2	101.0	2.9	- 0.2	- 0.3	4.1	3.4	- 2.2			
2025年1月	2,193	1,031	100.3	116.3	48.6	47.2	103.2	106.8	99.9	- 2.4	- 0.4	- 1.1	3.3	4.4	2.2			
2月	2,191	1,030	100.5	117.0	45.6	43.8	107.3	104.5	102.2	4.0	- 2.2	2.3	- 1.4	- 2.2	0.1			
3月	2,185	1,032	102.8	115.8	45.1	44.7	114.3	113.3	102.4	6.5	8.4	0.2	8.3	5.0	1.0			
4月	2,187	1,036	99.4	115.7	42.6	41.4	102.9	105.3	101.3	- 10.0	- 7.1	- 1.1	- 4.8	- 3.5	0.5			
5月	2,186	1,036	100.5	115.5	44.4	43.3	105.3	107.2	101.2	2.3	1.8	- 0.1	- 11.1	- 7.3	- 2.4			
6月	2,185	1,036	100.6	115.9	45.0	43.7	108.5	107.0	103.3	3.0	- 0.2	2.1	4.4	- 0.2	4.4			
7月	2,184	1,036	99.7	114.3	45.2	48.0	101.7	105.9	102.1	- 6.3	- 1.0	- 1.2	- 2.6	- 1.0	- 0.4			
8月	2,183	1,036	100.3	113.2	46.7	47.6	102.7	103.7	100.6	1.0	- 2.1	- 1.5	- 1.3	0.4	- 1.6			
9月	2,181	1,036	98.9	114.9	47.1	44.5	99.7	106.6	103.2	- 2.9	2.8	2.6	5.8	6.4	3.8			
10月	2,180	1,036	99.0	115.4	49.1	45.0							1.4					
資料出所	宮 城 県	当 社	内 閣 府				経 済 産 業 省	・ 東 北 経 済 産 業 局	・ 宮 城 県									

注) ①人口・世帯数の暦年・年度の数値はそれぞれ12月末、3月末、四半期の数値は各期末。 ②77BIは季節調整値。

③景気動向指標は一致指標、2020年=100。 ④景気ウォッチャー調査は季節調整値。

	新設住宅着工戸数 (戸)														
	宮城県	東 北	全 国	前年比 (%)											
				宮城県			東 北			全 国			宮城県		
2023年	16,079	43,969	819,623	- 8.7	- 7.6	- 4.6	- 12.4	- 11.6	- 11.4	2.4	5.1	- 0.3	- 23.3	- 19.1	- 3.6
2024年	17,069	42,374	792,195	6.2	- 3.6	- 3.3	- 0.3	- 5.2	- 2.8	9.1	- 0.7	- 0.5	5.2	- 8.3	- 8.5
2022年度	17,599	46,601	860,828	4.5	- 3.8	- 0.6	- 13.1	- 13.4	- 11.8	14.1	7.4	5.0	8.8	0.5	4.5
2023年度	15,661	42,949	800,226	- 11.0	- 7.8	- 7.0	- 13.9	- 12.3	- 11.5	6.0	8.0	- 2.0	- 36.2	- 24.2	- 9.4
2024年度	17,627	43,606	816,388	12.6	1.5	2.0	8.0	0.3	1.6	9.5	1.6	4.9	24.6	1.5	- 2.3
'24年7~9月	4,446	11,528	203,398	- 1.4	- 9.2	- 2.0	- 9.2	- 10.3	- 3.9	3.9	- 7.8	2.5	- 6.9	- 14.7	- 8.1
10~12月	4,414	10,507	197,679	7.8	0.8	- 2.4	20.8	5.7	8.3	7.7	- 2.7	- 3.6	- 6.8	- 3.6	- 10.5
'25年1~3月	3,905	9,504	206,519	16.7	14.9	13.3	25.5	18.1	10.5	20.3	19.0	19.2	- 5.5	- 3.6	7.6
4~6月	2,137	6,871	155,381	- 56.0	- 43.1	- 25.6	- 39.9	- 38.8	- 23.4	- 48.3	- 38.3	- 24.3	- 76.1	- 61.0	- 31.0
7~9月	3,154	8,756	185,254	- 29.1	- 24.0	- 8.9	- 26.5	- 18.9	- 9.1	- 45.7	- 36.5	- 9.9	11.1	- 0.2	- 6.2
2024年10月	1,301	3,286	69,670	- 18.9	- 13.8	- 2.9	3.8	- 1.4	9.0	- 11.9	- 21.9	- 6.7	- 49.8	- 19.5	- 9.3
11月	1,246	3,312	65,052	- 2.8	- 6.5	- 1.8	19.4	4.7	11.1	- 9.5	- 7.7	- 5.5	- 9.3	- 29.8	- 7.3
12月	1,867	3,909	62,957	54.8	27.3	- 2.5	39.1	14.6	4.6	50.0	28.2	2.1	86.1	54.8	- 14.7
2025年1月	691	1,971	56,134	- 39.4	- 20.3	- 4.6	- 10.4	- 6.3	- 8.6	- 43.3	- 25.8	- 1.2	- 55.2	- 41.1	- 6.0
2月	937	2,437	60,583	- 19.4	- 9.8	2.4	2.9	0.2	- 0.2	- 31.7	- 17.5	3.2	4.9	- 14.5	5.1
3月	2,277	5,096	89,802	118.3	64.5	39.6	78.9	52.3	37.9	152.2	83.8	51.2	65.8	43.9	23.4
4月	353	2,069	56,188	- 83.1	- 57.8	- 26.6	- 64.7	- 39.3	- 23.7	- 79.3	- 55.2	- 27.9	- 90.6	- 79.6	- 29.7
5月	788	2,032	43,237	- 43.1	- 40.9	- 34.4	- 22.2	- 48.2	- 30.9	- 46.9	- 35.6	- 30.5	- 53.0	- 43.9	- 43.8
6月	996	2,770	55,956	- 28.0	- 25.7	- 15.6	- 31.7	- 30.5	- 16.4	- 23.2	- 22.5	- 14.0	- 36.6	- 21.0	- 17.9
7月	1,106	2,953	61,409	- 24.7	- 29.2	- 9.7	- 43.2	- 29.1	- 11.1	- 50.7	- 45.1	- 13.1	112.7	39.5	- 1.7
8月	1,174	3,046	60,275	- 28.5	- 21.6	- 9.8	- 9.8	- 15.8	- 10.6	- 45.1	- 33.1	- 8.1	- 13.3	- 5.7	- 8.2
9月	874	2,757	63,570	- 34.5	- 20.6	- 7.3	- 27.1	- 10.5	- 5.6	- 40.2	- 27.9	- 8.2	- 24.0	- 25.2	- 8.3
10月	1,327	3,475	71,871	2.0	5.8	3.2	- 3.0	- 0.7	- 8.2	- 10.4	12.0	4.2	55.7	8.5	14.8
資料出所	国 土 交 通 省														

注) 新設住宅着工戸数の四半期の数値は当社集計。

主要経済指標

	公共工事請負金額(億円)						建築物着工床面積(千m ²)				建築物着工工事費予定額(億円)				
	宮城県	東北	全国	前年比(%)			宮城県	全国	前年比(%)			宮城県	全国	前年比(%)	
				宮城県	東北	全国			宮城県	全国	宮城県		宮城県	全国	宮城県
2023年	2,896	13,923	145,879	-6.3	-1.7	7.1	755	39,463	-0.9	-9.6	2,020	107,032	16.4	5.3	
2024年	2,692	13,528	153,153	-7.1	-2.8	5.0	739	35,088	-2.1	-11.1	2,087	110,317	3.3	3.1	
2022年度	2,949	14,685	139,937	-12.3	-1.8	-0.4	764	43,296	-15.6	-1.0	1,778	103,672	-2.8	8.1	
2023年度	2,863	13,685	147,405	-2.9	-6.8	5.3	766	38,832	0.2	-10.3	2,024	112,359	13.8	8.4	
2024年度	2,710	13,533	152,054	-5.3	-1.1	3.2	768	34,744	0.2	-10.5	2,485	112,099	22.8	-0.2	
'24年7~9月	748	3,741	38,765	-3.7	0.9	2.2	263	8,712	52.2	-10.2	812	28,054	91.4	1.8	
10~12月	503	1,995	26,072	-16.6	-7.6	1.2	137	8,390	18.1	-18.1	355	26,103	19.5	-16.7	
'25年1~3月	543	2,411	29,795	3.5	0.2	-3.6	208	8,383	15.9	-3.8	767	29,657	107.9	6.5	
4~6月	1,025	6,069	62,850	11.8	12.7	9.5	163	9,662	1.6	4.2	894	37,752	62.1	33.3	
7~9月	737	3,717	42,109	-1.4	-0.6	8.6	170	7,592	-35.3	-12.9	428	26,869	-47.3	-4.2	
2024年10月	215	1,037	11,288	-8.2	8.3	3.2	35	3,008	2.2	-26.8	79	10,328	-13.5	-9.1	
11月	166	490	7,999	-11.7	-16.5	4.6	33	2,817	-14.6	-4.7	73	8,645	-23.9	0.9	
12月	123	469	6,785	-32.5	-23.9	-5.7	69	2,566	59.4	-19.4	203	7,129	84.3	-37.5	
2025年1月	124	488	5,662	5.4	4.0	-1.3	96	2,247	154.4	-26.1	387	7,146	323.5	-28.9	
2月	128	556	6,914	-13.3	9.1	-22.5	23	2,943	-15.2	5.4	52	9,246	-5.8	14.9	
3月	291	1,368	17,220	12.1	-4.2	6.0	89	3,193	-22.2	10.8	328	13,265	47.4	36.0	
4月	456	2,594	27,254	28.1	9.9	12.0	24	3,615	-54.0	1.6	63	17,112	-51.0	34.8	
5月	248	1,611	16,541	10.1	23.6	4.0	114	3,346	32.9	27.2	750	11,605	307.3	60.6	
6月	321	1,864	19,055	-4.3	8.3	10.8	25	2,701	9.6	-12.4	80	9,035	-66.3	7.6	
7月	316	1,555	16,765	14.2	3.7	9.5	112	2,181	174.5	-23.9	233	7,059	-18.2	-17.5	
8月	185	992	10,996	-20.4	-14.3	2.7	43	2,344	-34.8	-13.6	145	8,728	-21.0	-18.0	
9月	236	1,171	14,348	-1.0	8.1	12.5	15	3,067	-90.2	-2.1	50	11,081	-85.4	25.1	
10月	388	1,436	13,327	80.8	38.5	18.1	21	2,740	-41.1	-8.9	72	11,096	-8.4	7.4	

資料出所 東日本建設業保証㈱宮城支店 北海道、東日本、西日本の三保証株式会社

国土交通省

注) ①公共工事請負金額の暦年・四半期の数値は当社集計。

②建築物着工床面積および建築物着工工事費予定額は民間非住宅の数値で、当社集計。

消費活動指	宮城県消費動向指	百貨店・スーパー(販売額:右同)				コンビニエンスストア				家電大型専門店		ドラッグストア		ホームセンター	
		宮城県(億円)	全国(億円)	前年比(%)		宮城県	全国	前年比(%)		宮城県	全国	前年比(%)		宮城県	全国
				宮城県	全国			宮城県	全国			宮城県	全国		
2023年		103.6	4,131	216,049	3.0	4.6	2.9	4.4	0.1	-1.1	8.2	8.2	-3.3	-0.03	
2024年		101.0	4,165	223,812	0.8	3.6	-0.7	1.2	-0.1	2.1	7.0	6.9	-1.3	1.7	
2022年度		104.5	4,039	208,912	1.6	4.5	3.6	4.6	0.4	-0.2	8.2	5.8	-1.1	-0.9	
2023年度		104.2	4,173	218,968	3.3	4.8	2.1	3.6	1.0	-0.8	8.5	8.9	-3.5	0.3	
2024年度		99.0	4,170	225,543	-0.1	3.0	-0.2	1.4	0.8	3.5	5.9	6.1	-0.1	1.6	
'24年7~9月	97.7	97.7	1,018	55,016	-0.5	2.5	-2.7	0.7	-3.9	1.8	5.2	5.2	-1.5	2.7	
10~12月	97.1	98.9	1,114	60,351	-0.7	1.9	0.1	1.0	-2.9	2.2	6.4	6.7	-1.6	1.0	
'25年1~3月	97.8	100.9	1,037	55,814	0.5	3.2	2.6	2.9	5.7	5.3	4.6	5.8	2.4	0.6	
4~6月	98.0	95.2	1,013	55,341	1.1	1.8	3.6	4.2	2.2	3.8	8.3	6.6	-1.9	0.8	
7~9月	98.2	99.3	1,032	56,529	1.4	2.7	4.4	3.3	1.8	1.6	8.7	4.6	-0.7	-1.6	
2024年10月	97.2	97.5	336	17,895	-2.5	-0.6	-0.6	2.0	-8.6	-2.4	4.3	4.3	-5.5	-3.3	
11月	97.1	99.6	350	18,976	1.3	3.3	0.3	1.9	-1.5	3.3	5.3	6.2	0.2	2.8	
12月	97.1	99.8	428	23,480	-0.8	2.8	0.6	-0.9	0.4	4.8	9.6	9.3	0.3	3.2	
2025年1月	97.1	98.2	359	19,159	0.5	4.9	3.1	4.1	8.0	5.0	2.9	6.3	1.3	0.6	
2月	98.4	100.8	322	17,306	0.8	1.9	0.3	0.3	4.9	5.6	2.3	3.4	0.3	0.3	
3月	97.8	103.9	355	19,350	0.3	2.8	4.2	4.1	3.6	5.3	8.6	7.6	5.1	0.9	
4月	97.9	90.1	333	18,025	1.2	2.7	2.8	3.4	-1.4	1.1	5.4	6.7	-5.0	-0.5	
5月	97.6	95.3	337	18,495	1.4	1.8	3.3	4.2	3.1	4.7	8.3	6.5	-3.5	0.6	
6月	98.4	100.2	343	18,821	0.7	1.0	4.8	5.1	4.5	5.6	11.0	6.5	3.2	2.3	
7月	97.9	96.1	354	19,259	2.3	1.6	5.0	3.6	2.3	-4.8	10.7	5.7	3.0	1.0	
8月	98.1	102.5	353	19,277	1.0	3.3	4.8	3.3	1.8	5.4	7.7	3.4	-1.5	-3.5	
9月	98.6	99.4	324	17,993	0.7	3.4	3.3	3.0	1.2	5.4	7.7	4.7	-3.9	-2.3	
10月	98.6	101.4	345	18,810	2.8	5.1	2.2	2.6	18.3	11.0	12.0	6.0	-1.8	0.2	

資料出所 日本銀行 当社 経済産業省

注) ①消費活動指数は2015=100、宮城県消費動向指数は2020=100とした季節調整値。

②百貨店・スーパー、コンビニエンスストア、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンターの前年比は全店ベース。

主要経済指標

	乗用車新車販売台数						延べ宿泊者数(千人泊)				外国人延べ宿泊者数(千人泊)			
	宮城県 (台)	東北 (台)	全 国 (千台)	前年比(%)			宮城県	全 国	前年比(%)		宮城県	全 国	前年比(%)	
				宮城県	東 北	全 国			宮城県	全 国			宮城県	全 国
2023年	74,387	287,733	3,988	14.4	15.1	15.8	10,072	617,475	20.1	37.1	526	117,751	701.3	613.5
2024年	66,682	259,246	3,721	-10.4	-9.9	-6.7	10,266	659,065	1.9	6.7	777	164,463	47.7	39.7
2022年度	67,620	262,607	3,609	6.7	6.4	4.2	8,938	503,999	32.4	48.5	133	36,262	216.5	783.8
2023年度	70,665	270,964	3,802	4.5	3.2	5.4	10,239	629,728	14.6	24.9	653	133,214	391.3	267.4
2024年度	68,924	268,738	3,856	-2.5	-0.8	1.4	10,202	661,607	-0.4	5.1	841	172,241	28.7	29.3
'24年7~9月	17,490	68,861	976	-1.9	-0.3	1.2	2,816	178,574	-1.4	4.4	178	40,340	32.3	27.1
10~12月	17,118	64,659	947	-6.8	-7.2	-3.2	2,707	173,618	4.1	6.4	235	46,810	31.5	26.3
'25年1~3月	19,887	76,476	1,102	12.7	14.2	14.0	2,262	152,319	-2.7	1.7	263	43,725	32.3	21.6
4~6月	16,062	62,055	885	11.3	5.6	6.5	2,539	158,126	5.0	0.7	226	47,267	36.6	14.3
7~9月	16,897	64,642	932	-3.4	-6.1	-4.5	2,860	174,837	1.6	-2.1	206	40,397	15.9	0.1
2024年10月	5,960	23,320	337	-4.5	-4.4	1.0	971	59,579	7.0	6.2	81	15,885	19.3	27.1
11月	6,100	23,150	330	-3.8	-6.5	-3.9	916	58,122	3.2	6.7	78	15,092	36.3	25.4
12月	5,058	18,189	280	-12.6	-11.5	-7.0	820	55,917	1.9	6.5	77	15,833	41.7	26.2
2025年1月	5,446	20,566	328	11.4	13.2	15.0	705	48,878	-0.4	7.4	96	15,149	56.8	35.2
2月	5,924	22,825	354	17.7	20.3	18.9	706	47,934	-5.8	-1.6	99	13,760	32.3	16.6
3月	8,517	33,085	420	10.3	10.9	9.5	851	55,507	-1.9	-0.1	68	14,815	8.5	14.5
4月	5,132	20,192	287	12.4	9.5	11.0	824	53,045	6.5	1.9	101	17,288	44.1	20.4
5月	4,995	19,102	269	6.4	2.2	3.1	874	55,635	7.0	2.3	65	15,860	43.3	16.7
6月	5,935	22,761	329	14.8	5.3	5.5	840	49,446	1.6	-2.4	60	14,120	20.2	5.3
7月	5,874	22,834	326	-4.1	-5.2	-3.8	876	55,747	0.3	-2.6	66	13,979	12.3	-4.2
8月	4,648	16,998	249	3.7	-6.9	-8.2	1,122	65,985	6.4	-0.4	78	13,847	22.1	3.8
9月	6,375	24,810	357	-7.4	-6.4	-2.5	861	53,105	-2.9	-3.6	61	12,570	12.4	1.3
10月	5,879	22,905	328	-1.4	-1.8	-2.9								

資料出所 日本自動車販売協会連合会・全国軽自動車協会連合会

観光庁

注) ①乗用車新車販売台数は普通乗用車、小型乗用車および軽乗用車の合計値。

②延べ宿泊者は全宿泊施設の数値。

	完全失業者		新規求人倍率			有効求人倍率			企業物価指数		消費者物価指数(2020年=100)			
	失業者数 (万人)	失業率 (%)	宮城県 (倍)	東北 (倍)	全 国 (倍)	宮城県 (倍)	東北 (倍)	全 国 (倍)	2020年 =100	前年比 (%)	仙台市	全 国	前年比(%)	
													仙台市	全 国
2023年	178	2.6	2.15	2.00	2.29	1.37	1.33	1.31	119.9	4.4	106.9	105.2	3.7	3.1
2024年	176	2.5	2.01	1.91	2.25	1.25	1.24	1.25	122.8	2.4	110.0	107.9	3.0	2.5
2022年度	178	2.6	2.23	2.12	2.31	1.40	1.39	1.31	117.2	9.5	104.0	103.0	3.6	3.0
2023年度	178	2.6	2.11	1.97	2.28	1.34	1.30	1.29	120.1	2.5	107.7	105.9	3.5	2.8
2024年度	175	2.5	1.99	1.92	2.26	1.23	1.23	1.25	124.1	3.3	111.0	108.7	3.1	2.7
'24年7~9月	175	2.5	2.00	1.92	2.25	1.23	1.23	1.25	123.5	3.1	110.4	108.4	2.7	2.7
10~12月	172	2.5	1.97	1.90	2.26	1.23	1.22	1.25	124.6	3.9	111.7	109.2	2.9	2.6
'25年1~3月	172	2.5	2.02	1.97	2.31	1.22	1.23	1.25	125.8	4.2	112.4	109.9	3.6	3.1
4~6月	173	2.5	1.97	1.90	2.19	1.21	1.22	1.24	126.5	3.3	113.8	111.2	3.9	3.5
7~9月	175	2.5	1.89	1.87	2.15	1.15	1.18	1.21	126.7	2.6	114.2	111.5	3.4	2.9
2024年10月	172	2.5	1.93	1.90	2.25	1.23	1.22	1.25	124.2	3.8	111.0	108.8	2.2	2.3
11月	173	2.5	1.91	1.90	2.25	1.23	1.22	1.25	124.6	3.9	111.7	109.2	3.0	2.7
12月	172	2.5	2.06	1.90	2.27	1.22	1.21	1.25	125.1	4.1	112.3	109.6	3.5	3.0
2025年1月	174	2.5	1.98	2.01	2.32	1.22	1.23	1.26	125.5	4.2	112.5	109.8	3.8	3.2
2月	168	2.4	2.05	1.97	2.30	1.20	1.21	1.24	125.8	4.3	112.1	109.7	3.4	3.0
3月	173	2.5	2.04	1.94	2.32	1.25	1.24	1.26	126.2	4.3	112.7	110.2	3.5	3.2
4月	176	2.5	2.00	1.94	2.24	1.22	1.23	1.26	126.6	3.9	113.4	110.9	3.9	3.5
5月	172	2.5	1.90	1.85	2.14	1.22	1.22	1.24	126.5	3.1	114.1	111.4	4.0	3.7
6月	172	2.5	2.02	1.92	2.18	1.19	1.21	1.22	126.4	2.8	113.9	111.4	3.7	3.3
7月	164	2.3	1.94	1.93	2.17	1.17	1.20	1.22	126.7	2.5	114.3	111.6	3.6	3.1
8月	179	2.6	1.82	1.84	2.15	1.16	1.18	1.20	126.4	2.6	114.4	111.6	3.4	2.7
9月	181	2.6	1.90	1.84	2.14	1.13	1.16	1.20	127.0	2.8	113.8	111.4	3.3	2.9
10月	185	2.6	1.86	1.90	2.12	1.10	1.14	1.18	127.5	2.7	114.7	112.1	3.3	3.0

資料出所 総務省

厚生労働省

日本銀行

総務省・宮城県

注) ①完全失業者、企業物価指数は全国の数値。

②消費者物価指数は生鮮食品を除く総合指数。

③仙台市消費者物価指数の四半期の数値は当社集計。

主要経済指標

	宮城県主要4漁港水揚							宮城県貿易				
	水揚数量 (千トン)	数量				金額		輸出		輸入		
		前年比	(%)	塩釜	石巻	気仙沼	女川	水揚金額 (億円)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)	
2023年	203	7.9	14.6	-5.1	41.4	-1.2	634	28.1	3,562	6.1	11,129	4.2
2024年	187	-8.0	2.1	-11.9	3.9	-25.1	600	-5.3	4,331	21.6	11,977	7.6
2022年度	194	-12.2	-21.5	11.3	-37.4	-18.2	525	7.3	3,525	33.6	11,577	38.8
2023年度	190	-2.1	24.8	-13.7	34.2	-25.6	617	17.5	3,792	7.6	11,004	-4.9
2024年度	191	0.5	-16.2	-6.4	5.9	20.8	594	-3.8	4,203	10.8	11,615	5.5
'24年7~9月	48	17.3	63.3	11.0	24.6	-33.4	170	0.7	963	17.1	2,761	16.4
10~12月	49	48.2	-6.5	68.3	31.4	90.9	171	23.2	1,081	8.7	3,072	-8.8
'25年1~3月	36	12.8	-59.2	-5.3	-2.3	132.9	73	-8.6	1,044	-10.9	2,734	-11.7
4~6月	59	3.1	56.4	0.5	7.2	-8.0	183	1.7	1,006	-9.8	2,554	-16.2
7~9月	29	-40.0	0.7	-12.8	-63.9	58.8	145	-14.7	1,017	5.6	2,749	-0.4
2024年10月	16	-0.1	21.4	2.2	-11.2	32.5	70	11.9	332	-0.6	874	-7.0
11月	17	83.0	108.1	70.9	91.7	87.1	65	48.6	357	14.3	1,181	0.5
12月	16	107.7	-69.3	174.0	108.6	283.2	36	10.7	392	12.5	1,017	-18.8
2025年1月	15	7.7	-83.4	-6.6	30.2	77.0	26	-17.7	281	-22.7	1,023	-3.1
2月	11	-5.5	0.7	-26.5	-60.6	143.4	25	-12.0	385	11.0	868	-21.5
3月	10	60.4	-58.2	36.9	34.7	287.9	23	9.6	377	-18.1	842	-9.8
4月	14	-6.1	-7.8	-1.3	-14.7	-11.3	31	-13.9	415	3.2	942	-18.6
5月	19	28.4	118.8	17.7	37.2	31.6	51	7.7	280	-22.0	963	-1.1
6月	26	-5.5	45.5	-10.0	2.4	-22.8	101	4.6	311	-12.1	649	-29.2
7月	14	-26.9	40.6	16.6	-63.6	51.0	69	-2.3	306	-10.6	760	-17.6
8月	6	-60.3	-47.7	-37.5	-69.9	-33.7	32	-33.2	311	10.5	1,034	14.6
9月	9	-35.9	68.4	-31.1	-56.9	110.6	45	-14.5	399	17.9	955	2.0
10月	11	-33.5	-19.6	-26.4	-44.5	-27.3	52	-25.5	374	12.8	1,057	20.9
資料出所	宮城県							財務省				

注) 宮城県主要4漁港水揚の年度・四半期の数値および宮城県貿易の年度・四半期・月次の数値は当社集計。

	企業倒産(負債総額1千万円以上)							宮城県内預金残高		宮城県内貸出金残高		
	件数(件)	前年比(%)			負債額(億円)	前年比(%)			金額 (億円)	前年比 (%)	金額 (億円)	前年比 (%)
		宮城県	宮城県	東北		宮城県	宮城県	東北				
2023年	143	43.0	27.3	35.2	187	-17.6	56.7	3.1	121,335	0.3	80,263	2.5
2024年	161	12.6	30.9	15.1	232	24.0	7.8	-2.5	122,184	0.7	83,132	3.6
2022年度	108	25.6	15.7	15.1	225	12.8	-4.6	99.0	121,092	2.3	78,618	5.9
2023年度	146	35.2	47.3	31.6	223	-0.8	40.0	6.0	121,884	0.7	80,443	2.3
2024年度	160	9.6	16.0	12.1	210	-5.6	3.4	-3.6	122,583	0.6	83,396	3.7
'24年7~9月	34	0.0	19.5	10.9	52	-33.4	0.7	5.5	119,135	-2.2	81,343	2.6
10~12月	33	0.0	20.9	7.6	30	-34.1	17.1	20.0	122,184	0.7	83,132	3.6
'25年1~3月	43	-2.3	-0.7	6.0	60	-26.4	-3.9	8.4	122,583	0.6	83,396	3.7
4~6月	43	-14.0	13.2	-3.0	38	-45.3	-3.2	-17.0	120,833	-0.7	83,769	3.9
7~9月	42	23.5	0.7	6.3	77	50.1	36.7	-61.2	120,395	1.1	85,372	5.0
2024年10月	15	50.0	75.8	14.6	14	25.7	201.9	-17.9	120,466	0.1	81,977	3.5
11月	10	0.0	38.7	4.2	10	-58.1	-19.3	68.9	121,155	1.0	82,502	3.8
12月	8	-38.5	-25.5	4.0	6	-41.3	-47.8	88.0	122,184	0.7	83,132	3.6
2025年1月	19	90.0	100.0	19.8	37	54.7	66.1	53.5	120,264	0.01	82,841	3.6
2月	11	-26.7	-34.5	7.3	14	-51.9	-37.3	22.7	120,628	0.2	83,292	4.1
3月	13	-31.6	-20.3	-5.8	9	-68.9	-1.5	-30.7	122,583	0.6	83,396	3.7
4月	11	-31.3	30.0	5.7	4	-84.7	57.9	-9.4	120,961	-0.03	83,246	4.0
5月	19	-13.6	4.7	-15.1	23	-11.1	-16.7	-33.9	121,678	0.9	83,450	3.7
6月	13	8.3	10.0	3.4	11	-37.2	-29.2	-3.8	120,833	-0.7	83,769	3.9
7月	10	-28.6	-11.1	0.8	5	-75.4	105.3	-78.6	120,360	0.04	84,354	4.1
8月	15	50.0	-11.6	11.3	24	-0.2	-38.5	12.8	121,667	0.6	84,449	3.9
9月	17	70.0	31.6	8.2	48	586.0	80.1	-15.3	120,395	1.1	85,372	5.0
10月	11	-26.7	-29.3	6.2	21	56.0	-62.1	-49.6	120,953	0.4	86,103	5.0
資料出所	(株)東京商工リサーチ							日本銀行				

注) ①企業倒産の四半期の数値は当社集計。

②預金残高、貸出金残高の歴年・年度の数値はそれぞれ12月末、3月末、四半期の数値は各期末。

経済日誌 (2025年11月分)

宮 城 県		東 北	
1日	スクウェア・エニックス（東京都）は「ドラゴンクエストウォーキング」を開催した。七北田公園などが主会場で中心部商店街とも連携。2日間で関連イベントを含め3万人以上が来場。	5日	青森県は2024年の県産リンゴ（24年8月～25年8月出荷分）販売額を発表した。1361億94百万円（前年比11%増）と過去最高。販売数量33万8千トソ（同1%減）。
6日	県はクマ出没に伴う緊急対策に着手した。県内全域を対象に総延長17キロ、47万4100m ² の河川敷や中洲のやぶを撤去。総事業費6千万程度。今月末まで完了見込み。	6日	東北財務局は7～10月の管内経済情勢報告を発表した。総括判断「持ち直している」を9期連続で据え置き。県別では岩手県が下方修正、福島県が上方修正。
13日	パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス（東京都）は旧さくら野百貨店仙台店跡地の一体再開発を断念すると発表。建築資材費や人件費の高騰などが一因。	11日	東北活性化研究センターは東北の10月の景気ウォッチャー調査結果を公表した。現状判断DIは前月比0.5ポイント増の45.0、先行き判断DIは同4.7ポイント増の51.3とともに3カ月ぶりの改善。
18日	仙台市は音楽ホールと震災メモリアル施設の基本設計中間案を公表した。建物はRC造4階建、延べ床面積約2万7400m ² 。建設工事費は約548億円。県内経済波及効果は年約47億円の試算。	21日	盛岡市は中ノ橋通一丁目市街地再開発の建設計画を変更すると発表した。建設費高騰で2月実施の入札が不調、19階建て分譲マンション（106戸）を8階建てオフィスビルに変更。
28日	東北農政局は2025年産米の検査結果（10月末現在、速報値）を公表した。宮城県の1等米比率93.4%（前年同期比+3.6ポイント）。銘柄別ではひとめぼれ95.6%（同+4.1ポイント）。	28日	農林水産省は2025年の農林業センサス（概数値、2月1日現在）を公表した。東北の基幹的農業従事者は18万7156人と前回（20年）調査比6万2556人（25.0%減）。65歳以上72.3%（同+2.2ポイント）。
国 内		海 外	
4日	厚生労働省は人口動態統計（概数）を公表した。2025年上半期（1～6月）出生数（外国人含まず）前年同期比3.3%減の31万9079人。自然減は50万4264人。	14日	ロシア連邦統計局は2025年7～9月期国内総生産（GDP、速報値）を発表した。実質では前年同期比0.6%増と4～6月期（1.1%増）から鈍化。23年1～3月期（0.9%減）以来の低い成長率。
11日	財務省は2025年度上半期（4～9月）国際収支速報を発表した。経常収支は前年同期比14.1%増の17兆5128億円の黒字。貿易収支は494億円の黒字転換。		中国外務省はSNSで日本訪問自粛を呼びかける発信を行った。日本首相の国会答弁に対する対抗措置で国内大手旅行会社が日本旅行の販売を停止、月初に再開した日本水産物の輸入も再停止。
13日	政府はガソリン補助追加対策を開始した。暫定税率（約25円）廃止の移行措置として1ドル当たり5円増の15円から2週間ごとに約5円追加。12月11日からは暫定税率と同額。	20日	米労働省は9月の雇用統計を公表した。政府閉鎖の影響により通常より1カ月半遅れでの公表。非農業部門の就業者数は前月比11万9千人増。失業率4.4%と約4年ぶりの高さ。
17日	内閣府は2025年7～9月期の国内総生産（GDP）速報値を発表した。実質は前期比▲0.4%、年率換算▲1.8%と1年半ぶりのマイナス成長。名目は同+0.1%、同+0.5%。	30日	中国国家統計局は11月の製造業購買担当者景気指数（PMI）を発表した。49.2（前月比+0.2ポイント）と8カ月連続の50割れ。内訳では新規受注49.2（同+0.4ポイント）、生産50（同+0.3ポイント）。

資料：日本経済新聞、河北新報ほか

県内経済の十大ニュース

2025年の宮城県内経済にとって特徴的な出来事・動きを「十大ニュース」として選び、統計データなどを交えて振り返ります。

- 東京エレクトロン・新生産棟建設発表～AI 時代への投資～（2月）
- 「読売仙台ビル」・建替プロジェクト発表～停滞する再開発に希望の光～（4月）
- 米・相互関税発動～県内の輸出・生産への影響は軽微も間接的影響に注意～（4月）
- 政府備蓄米放出・県内でも販売開始～収まらぬ「令和の米騒動」～（5月）
- ゼビオアリーナ仙台開館～スポーツを核とした新たな集客拠点の誕生～（7月）
- 記録的猛暑・少雨～気候変動が県内経済の下押し要因に～（6～8月）
- 最低賃金・初の1,000～円台に～国策“秋闇”の「強制賃上げ」～（10月）
- 消費者物価指数・過去最高更新～目減りする家計の購買力～（10月）
- 「さくら野百貨店仙台店」跡地・再開発断念～再開発を襲う建設費の呪い～（11月）
- タイ直行定期便・5年9カ月ぶりに就航～通年運航への契機に～（12月）

※2025年12月15日現在

○ 東京エレクトロン・新生産棟建設発表～AI 時代への投資～（2月）

東京エレクトロン宮城は本社工場（大和町）に生産新棟を建設すると発表しました。AI関連が牽引して急速に拡大する半導体市場は2030年には1兆ドル規模に成長すると見込まれており、前工程の生産設備である半導体製造装置（プラズマエッティング装置など）の生産体制の強化に踏み切りました。生産新棟は鉄骨造り・全免震構造の地上4階建てで延床面積88,600m²、建設費は総額で1,040億円となっています。今年5月に着工（統計ベース）しており、2027年夏の完成を予定しています。

台湾の半導体受託製造・力晶積成電子製造（PSMC）の進出断念は県内に大きな衝撃を与えたが、企業誘致姿勢を含めて行政・産業界では半導体産業集積への機運は失われていません。松島町や名取市、富谷市などでも工業団地の整備を進める動きがみられており、「県内総生産10兆円」の安定的達成に向けて製造業への期待が高まっています。

○ 「読売仙台ビル」・建替プロジェクト発表～停滞する再開発に希望の光～（4月）

読売新聞東京本社と東急不動産は今年2月に閉店した「イオン仙台店」が入居している「読売仙台ビル」の建替プロジェクトを発表しました。当該物件は敷地面積5,200m²、仙台中心部の青葉通に100m面し、東二番丁通やクリスロード商店街にも接しています。

建替物件は延床面積42,000m²、オフィスやホテル、商業施設などの入居を想定しています。高機能オフィスや地域のにぎわいに寄与するオープンスペース等の整備により仙台市の「せんだい都心再構築プロジェクト」の認定を受けて2029年度の竣工を予定しており、本年5月の解体に着手しています。

近年、仙台市では中心部や駅に近い地区での商業施設閉店・休業が相次いでおり、建て替えなど計画未定の状態が続いているが、市内一等地での建替プロジェクトの発表は停滞感を漂う再開発に一条の光がさすものと言えそうです。

○ 米・相互関税発動～県内の輸出・生産への影響は軽微も間接的影響に注意～（4月）

今年1月に米国第47代大統領に就任したドナルド・トランプ氏は、ほぼすべての米国輸入品に対して「相互関税」を導入し、日本を含む各国一律10%の関税と国別の追加関税（日本は24%：当初発表）を課しました。このほか、アルミニウムや鉄鋼、自動車および基幹部品など商品別の追加関税も導入しました。

宮城県の米国向け輸出（2024年）は1,055億円と全体の24.4%、うち「自動車用タイヤ及びチューブ（367億円）」、「電池（おもに車載用：275億円）」、「原動機（62億円）」など自動車関連が3分の2となっていますが、今年1～10月の累計で前年同期比3.9%増となるなどこれまでのところ影響はみられていません。

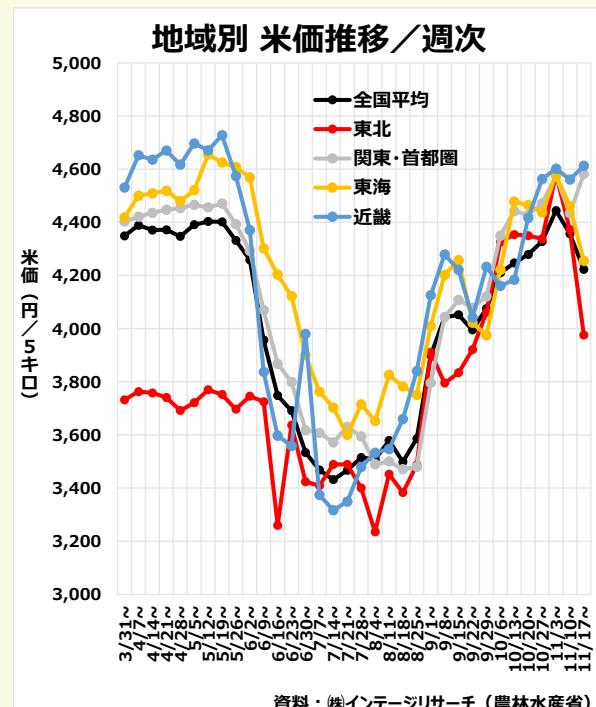
ただ、米・相互関税の影響はグローバル経済に広く及び、県内経済への波及経路も多岐にわたると考えられます。特に日本のリーディング産業である自動車産業の受けた収益の下押しは価格転嫁交渉や賃上げなど様々な間接的影響が想定され、引き続きその動向が注視されます。

○ 政府備蓄米放出・県内でも販売開始～収ま

らぬ「令和の米騒動」～（5月）

コメの在庫不足・価格の高騰を受け、政府は2月14日の閣議で政府備蓄米の放出を決定しました。ただ、3月10～12日以降、3回の入札を経た5月時点での小売業への流通率は7%にとどまったため、政府は随意契約による大手小売業者等への販売を通じて流通量の増加を図り、5月31日には県内の店頭でも販売されました。

しかし、価格を引き下げる効果は限定的で、むしろ25年産の新米が出回ると、店頭価格は上昇に転じました。米価は年間を通じて高値で推移し、家計を圧迫する一因となりました。



○ ゼビオアリーナ仙台開館～スポーツを核とした新たな集客拠点の誕生～（7月）

ゼビオホールディングス（HD）は2023年11月に仙台市と締結した「ゼビオアリーナ仙台の改修及び管理運営に関する基本協定」に基づき、国際規格のスケートリンクを備えた施設の改修工事を進め、施設命名権（ネーミングライツ：引き続き「ゼビオアリーナ仙台」）を取得のうえ仙台市に負担付き寄附として引き渡し、ゼビオHD傘下の子会社が管理・運営を担う指定管理者となって7月5日に開所しました。

施設はフィギュアスケートの練習やアイスショーで使用されるほか、バスケットボールの試合やコンサートの開催などにも対応しています。2012年の開業以来、延べ来場者数200万人を超える東北有数のアリーナは、リニューアルを機に多目的に活用される新たな集客拠点として交流人口の拡大に寄与するものと期待されます。

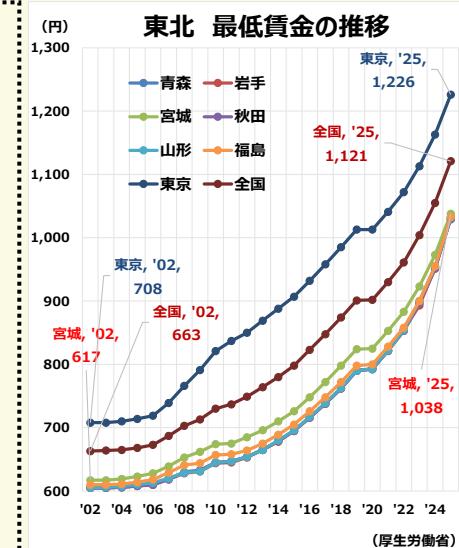
○ 記録的猛暑・少雨～気候変動が県内経済の下押し要因に～（6～8月）

気象庁によると、仙台市の今夏（6～8月）の平均気温は 25.8℃（平年差 +3.7℃）となり観測史上最も高くなり、降水量は 173.5mm（平年比 36%）と記録的少雨でした。鳴子ダムは 7 月 29 日に貯水率 0% となり 8 月 27 日にはダム管理開始（1967 年）以降の最低推移となりました。当社の調査では県内企業の 37.7% が「マイナスの影響」があったと回答しており、経済活動の制約やエネルギーコストの増加などにより県内経済が下押しされました。

○ 最低賃金・初の 1,000～円台に～国策“秋闇”の「強制賃上げ」～（10 月）

県の地方最低賃金審議会は 2025 年度の最低賃金改定にあたり、国が示す目安（63 円増）に上乗せして 65 円増の 1,038 円で答申しました。引き上げ額・率ともに過去最大で初の 1,000 円台となり、10 月から実施されました。

近年の経済産業界で最大の課題となっている「賃上げ」ですが、“春闇”と呼ばれる労使交渉が大企業・中堅企業を中心であるのに対し、中小企業では最低賃金改定による上昇圧力の方が強く、近年では労使間をめぐって“秋闇”ともいいうべき様相を呈してきています。



○ 消費者物価指数・過去最高更新～目減りする家計の購買力～（10 月）

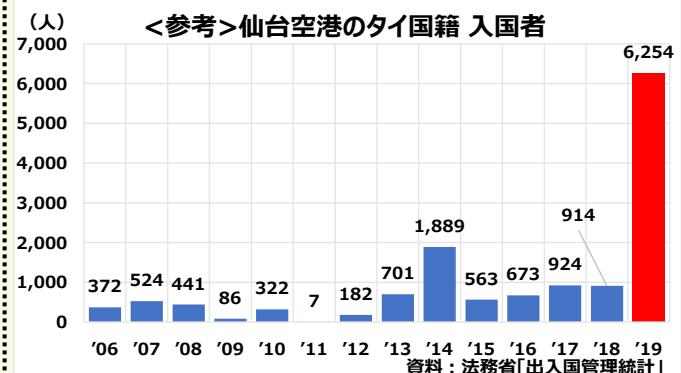
仙台市の 10 月の消費者物価指数（2020 年 = 100：11 月 21 日公表）は「生鮮食品を除く総合」で 114.7 と過去最高を更新しました。費目別では穀類（米類）や調理食品、菓子類、外食など「生鮮食品を除く食料」が同 130.1 と高水準にあり、物流費・人件費上昇や米価高騰、円安基調など複合的要因により高止まりし、家計の実質可処分所得が目減りしています。

○ 「さくら野百貨店仙台店」跡地・再開発断念～再開発を襲う建設費の呪い～（11 月）

「ドン・キホーテ」を運営するパン・パシフィック・インターナショナルホールディングスは仙台駅西口の「さくら野百貨店仙台店」跡地の一体再開発を断念すると発表した。建設費の高騰などが要因としており、2017 年 2 月に経営破綻した同社の当該物件を 2020 年に取得して再開発を検討していましたが、8 年 9 力月を経て跡地利用は白紙に戻りました。なお解体工事は 11 月上旬に着手・2027 年度に完了予定であり、今後の対応が注目されます。

○ タイ直行定期便・5 年 9 力月ぶりに就航～通年運航への契機に～（12 月）

航空会社タイ・エアアジア X は仙台～バンコクの定期便を就航させました。就航は 5 年 9 力月ぶりで冬季間限定の運航ですが、2019 年の新規就航時には仙台空港のタイ人入国者が 3 力月間で前年の 6 倍となるなど、直行便効果を示しました。



2025年の主な出来事

月	日	宮城県内		国 内		海 外	
		日	内	日	内	日	外
1	7	◆中国・比亚迪（BYD）の正規販売店「BYD AUTO仙台あおば」（仙台市青葉区）オープン、東北初進出		3 ◆第101回東京箱根間往復大学駅伝、青山学院大学が2年連続8度目の総合優勝		1 ◆米・ニューオーリンズ、群衆に車突入するテロ事件発生、15人死亡	
	7	◆県警、2024年の交通事故（県内発生）件数公表、1965年以降最少の3,785件		6 ◆調査会社レコデータ（東京都）、2024年の日本企業が関連するM&A件数発表、過去最高の4,700件（前年比17.1%増）		5 ◆米、第82回ゴールデン・グローブ賞、俳優・真田広之さんが主演男優賞受賞など米配信ドラマ「SHOGUN 将軍」が4冠獲得	
	7	◆仙台国際空港（名取市）、年末年始期間（2024年12月27日～2025年1月5日）の旅客数（速報値）公表、国内線、国際線合計11万6,106人（前同時期比11.7%増）		6 ◆気象庁、2024年の平均気温、平年値比+1.48度と観測史上最高と公表		6 ◆カナダ・トルドー首相、辞意表明	
	17	◆格安航空会社（LCC）香港エクスプレス、仙台～香港線新規就航		7 ◆青森県、大雪による災害救助法の適用決定、青森市など10市町村対象		6 ◆米調査会社ユーラシア・グループ、2025年十大リスク公表、トップは「主導国不在のGゼロ」	
	23	◆市場卸売会社「みなと塩釜魚市場」、不適切取引が発覚、1カ月間使用停止処分		15 ◆観光庁、2024年訪日客消費額（速報値）公表、8兆1,395億円、統計開始以降初の8兆円超		7 ◆中国・チベット、マグニチュード（M）6.8の地震発生、130人負傷95人死亡	
	23	◆「みやぎアンバサダーサミット」（県主催）開幕、計11カ国・地域が参加		17 ◆阪神大震災から30年		7 ◆米メタ、第三者機関によるファクトチェック制度、米国で廃止	
	25	◆気仙沼市、「第3回新しい地方経済・生活環境創生会議」（内閣官房主催）開催、地方開催は初		17 ◆農林水産省、コメの相対取引価格公表、2024年産米の全名柄平均2万3,715円（玄米60k当たり）と過去最高値		7 ◆米・ロサンゼルス、大規模山火事発生、住宅など1万棟以上損壊	
	25	◆英国・ロータス、正規販売店「ロータス仙台」（仙台市若林区）オープン、東日本で初		21 ◆第73代横綱照ノ富士、引退		13 ◆中国税関総署、2024年貿易統計公表、輸出が前年比5.9%増の3兆5,772億ドル（約563兆円）、貿易黒字（9,921億ドル）過去最高更新	
	27	◆日本ジオパーク委員会、蔵王山（蔵王連峰）を中心とする「蔵王」を日本ジオパークに認定		21 ◆海運大手・商船三井、液化天然ガス（LNG）が燃料の新型フェリー「さんふらわあかむい」就航		17 ◆中国国家統計局、2024年国内総生産（GDP、速報値）公表、実質が前年比5.0%増と前年（5.2%）から鈍化	
	29	◆せんだいメディアテーク（仙台市青葉区）、館長に東大名誉教授のロバート・キャンベル氏就任		23 ◆タレント・中居正広さん芸能活動引退		17 ◆プロ野球・佐々木朗希投手、米大リーグ・ドジャース入団	
				23 ◆財務省、2024年貿易統計（速報値、通関ベース）公表、貿易収支5兆3,326億円と4年連続赤字、輸出107兆913億円（前年比6.2%増）と過去最大額		19 ◆韓国・尹大統領、戒厳令巡る内乱容疑で逮捕、現職大統領の逮捕は初	
				23 ◆不動産経済研究所、東京23区の新築マンション2024年発売平均価格（1戸当たり）発表、前年比2.6%減の1億1,181万円、2年連続1億円超		19 ◆パレスチナ自治区ガザ、停戦発効	
				23 ◆福島県檜枝岐村、震度5弱の地震発生		20 ◆米共和党・ドナルド・トランプ氏、第47代大統領就任	
				24 ◆日銀、政策金利0.25%から0.5%に追加引き上げ決定、約17年ぶり水準		21 ◆元プロ野球選手・イチローさん、米国野球殿堂選出、アジア人として初	
				24 ◆出入国在留管理庁、2024年外国人入国者数（速報値）公表、約3,678万人で過去最多更新		21 ◆トルコ北西部カルタルカヤ、ホテル火災事故発生、76人死亡	
				28 ◆アンテナショップ「宮城ふるさとプラザ」（東京都日本橋茅場町）、再オープン		23 ◆タイ、「結婚平等法」施行、東南アジアで初の同性婚が可能	
				28 ◆経済アナリスト・森永卓郎さん（67歳）死去		28 ◆韓国・金海国際空港、旅客機火災事故発生	
				29 ◆日本相撲協会、豊昇龍を第74代横綱昇進決定		29 ◆米レーガン・ナショナル空港付近、小型旅客機と米陸軍ヘリコプターが空中衝突事故発生	

月	日	宮城県内	国 内		海 外	
			日	内	日	外
2	1	◆La楽（らら）リゾートホテルグリーングリーン（仙台市青葉区）、大衆演劇場「作楽座」新設	2	◆宇宙航空研究開発機構（JAXA）、国産新型ロケット「H3」5号機打ち上げ成功	4	◆米政府、中国からの輸入品に対する10%の追加関税発動
	3	◆県、2025年度当初予算案発表、一般会計総額1兆265億円（前年度当初比0.3%増）と14年連続1兆円超	3	◆プロ野球阪神元監督・吉田義男さん（91歳）死去	5	◆アルゼンチン、世界保健機関（WHO）脱退
	9	◆国道4号仙台バイパス箱堤交差点（仙台市宮城野区、若林区）立体高架（卸町交差点－苦竹IC間1.4キロ）開通	4	◆農林水産省、2024年農林水産物・食品輸出額公表、1兆5,073億円（前年比3.7%増）と初の1兆5千億円超	7	◆米ワシントン、日米首脳会談開催
	16	◆「大人食堂」（仙台市青葉区）5年ぶり開催	10	◆財務省、2024年国際収支速報公表、経常収支黒字額29兆2,615億円（前年比29.5%増）と過去最大	13	◆台湾、百貨店「新光三越」台中中港店、ガス爆発事故発生、4人死亡
	28	◆イオン仙台店（仙台市青葉区）閉店、49年の歴史に幕	15	◆拉致被害者の有本恵子さんの父・明弘さん（96歳）死去	17	◆カナダ・トロント国際空港、旅客機着陸事故発生、18人負傷
			17	◆内閣府、2024年10～12月期国内総生産（GDP、季節調整済）速報値公表、実質GDP前期比0.7%増、年率換算2.8%増と3四半期連続プラス成長、2024年の名目GDPは609兆2,887億円と通年ベースで初の600兆円超	18	◆中国政府、2024年婚姻件数公表、610万6千組（前年比20.5%減）と1970年代以来の低水準
			18	◆ディスカウント店「ドン・キホーテ高知店」オープン、47都道府県で最後の出店	22	◆第75回ベルリン国際映画祭、水尻自子監督のアニメ「普通の生活」が短編銀熊賞受賞
			20	◆旅行ガイドブック「地球の歩き方」、東北4県の観光情報を掲載した「みちのく」発売	25	◆韓国中部、高速道路の工事現場で橋桁崩落事故発生、4人死亡
			25	◆岩手県陸前高田市、山火事発生	25	◆トランプ米大統領、外国人の富裕層向けの永住権500万ドル（7億5千万円）で販売と表明
			26	◆岩手県大船渡市内、山林3カ所で山火事発生	26	◆韓国統計庁、2024年合計特殊出生率0.75と発表、世界最低水準
			27	◆厚生労働省、人口動態統計（速報値）公表、2024年出生数（外国人含む）72万988人、9年連続最少更新	28	◆米アップル、iPhone（アイフォーン）の低価格モデルの新機種「16e」発売
			28	◆国土交通省、2024年クルーズ船訪日客数公表、143万8千人（速報値）と前年比4倍	28	◆米ホワイトハウス、米ウクライナ首脳会談決裂
			28	◆商業施設「新宿アルタ」（東京都新宿区）閉館、約45年の歴史に幕		
			28	◆作家・曾野綾子さん（93歳）死去		
3	6	◆ワークマン（群馬県）、新業態店舗「ワークマンカラーズ仙台荒井店」（仙台市若林区）オープン	1	◆タレント・みのもんたさん（80歳）死去	3	◆台湾積体電路製造（TSMC）、米国に1千億ドル（約15兆円）投資と発表
	14	◆五大堂（松島町）、「透かし橋」改修工事完了、通行止め解除	6	◆東北新幹線（上野－大宮間）、走行中の連結分離事故発生	4	◆トランプ米政権、メキシコ、カナダからの輸入品に25%の関税発動、中国には10%上乗せし20%
			11	◆俳優・いしだあゆみさん（76歳）死去	6	◆韓国北部、軍戦闘機誤爆事故発生、15人負傷
			13	◆日本原子力研究開発機構、ウラン使用の蓄電池開発成功、成功は世界初		

月	日	宮城県内		国 内		海 外	
		日	日	日	日	日	日
3	18	◆角田市内郵便局、マイナンバーカード手続き受付開始、交付申請と電子証明書関連事務を担うのは東北初	14	◆出入国在留管理庁、在留外国人人数（2024年末）公表、376万8,977人と過去最多更新	8	◆韓国、尹錫悦大統領ソウル拘置所から釈放	
	18	◆国土交通省、公示地価（1月1日時点）公表、商業地上昇率4.9%と12年連続プラス、住宅地上昇率4.2%と13年連続プラス	18	◆東京ドーム（東京都文京区）、米大リーグ開幕戦（ドジャーズ対カブス）開催	11	◆フィリピン大統領府、ドゥテルテ前大統領に対し国際刑事裁判所（ICC）の逮捕状執行と発表	
	21	◆イオンモール名取、無料屋内遊戯施設「なとりばーく」オープン	20	◆サッカー男子日本代表、8大会連続8度目のW杯出場権獲得	12	◆米政府、鉄鋼とアルミニウムの25%関税発動	
	23	◆JR仙石線、初代「マンガツタンライナー」引退	23	◆岡山県南区、愛媛県今治市、山林火災発生	14	◆カナダ、与党自由党のカーニー党首、首相就任	
	30	◆航空会社トキエア（新潟県新潟市）、仙台-新潟線（1日2往復）運休、夏季期間限定で運行予定	24	◆防衛省、常設組織「統合作戦司令部」発足	18	◆イスラエル、パレスチナ自治区ガザに大規模空爆実施	
	30	◆女川町、離島航路（本土-出島）運航終了、58年の歴史に幕	25	◆東京地裁、世界平和統一家庭連合（旧統一教会）に解散命令、民法根拠は初	22	◆韓国南東部、山火事発生	
	31	◆交流拠点「深沼うみのひろば」（仙台市若林区）、オープン	27	◆映画監督・篠田正浩さん（94歳）死去	28	◆ミャンマー中部、マグニチュード（M）7.7地震発生、144人死亡700人以上負傷	
			31	◆NTT東日本、NTT西日本、天気予報ダイヤル「177」サービス終了			
4	1	◆仙台国際空港（名取市）、東北物産専門販売店舗「えふと」オープン	1	◆日銀、3月企業短期経済観測調査（短観）公表、大企業製造業の業況判断DIが前回調査比▲2ポイントの+12と1年ぶりに悪化	2	◆トランプ米大統領、「相互関税」導入発表、全ての国・地域一律10%追加関税導入、国・地域別に上乗せ	
	1	◆県、無線局「せんだいポートラジオ」本格運用開始、仙台塩釜港仙台港区に入出港する船舶運航を支援	1	◆総務省、情報流通プラットフォーム対処法（情プラ法）施行	4	◆韓国・憲法裁判所、尹錫悦大統領罷免決定	
	1	◆大衡村、デマンド型交通「のらいん」、本格運行開始	4	◆総務省、2024年度「地域おこし協力隊」隊員数公表、7,910人（前年度比710人増）と過去最多更新	8	◆ドミニカ共和国・サントドミニゴ、ナイトクラブの屋根崩落事故発生、113人死亡155人負傷	
	4	◆東松島市、2024年観光客入込数公表、前年比約16万人増の125万4,198人と東日本大震災以降最多	4	◆2024年度車名別国内新車販売台数公表、ホンダ軽自動車「N-BOX（エヌボックス）」21万768台（前年度比3.5%減）と4年連続首位	9	◆トランプ米政権、「相互関税」第2弾発動、約60カ国・地域対象	
	5	◆HOKUSHU仙台市科学館（仙台市青葉区）、全面リニューアルオープン	7	◆岩手県大船渡市、「大規模山林火災」鎮火宣言	15	◆国際ブドウ・ワイン機構（本部フランス）、2024年世界ワイン生産量225億8千万ℓ（前年比4.8%減）、消費量214億2千万ℓ（同3.3%減）と公表、ともに63年ぶりの低水準	
	10	◆仙台国際空港（名取市）、2024年度旅客数（速報値）公表、最多377万8,423人（前年度比6.4%増）	9	◆2025年本屋大賞、阿部暁子さん「カフネ」大賞受賞	18	◆イタリア・ベネチア、オーバーツーリズム（観光公害）対策として日帰り客からの入場料徴収開始、7月27日までの計54日間対象	
	22	◆老舗旅館「鷹泉閣岩松旅館」（仙台市青葉区）、温泉リゾートホテル「大江戸温泉物語Premium（プレミアム）仙台作並」として新装オープン	13	◆大阪・関西万博、人工島・夢洲（大阪府）で開幕、10月13日まで	18	◆宇宙航空研究開発機構（JAXA）、大西卓哉飛行士が国際宇宙ステーションの船長就任、日本人飛行士の船長就任は3人目	
	22	◆石巻圏観光推進機構（石巻DMO）、2024年度観光動態調査結果公表、関東からの来訪者割合（30.8%）が前年度比約10ポイント低下し3年ぶり県内客（34.7%）を下回る	14	◆総務省、人口推計（2024年10月1日時点）公表、日本人は前年同月比89万8千人減の1億2,029万6千人と過去最大減	21	◆ローマ教皇フランシスコ（88歳）死去	

月	日	宮城県内	国 内		海 外	
			日	内	日	外
4			17	◆財務省、2024年度貿易統計（速報、通関ベース）公表、貿易収支5兆2,217億円と4年連続赤字、赤字幅は前年度比15.0%縮小	23	◆米ワシントン、20カ国・地域（G20）財務相・中央銀行総裁会議開幕
5	8	◆仙台市、保育施設の待機児童（4月1日時点）4年連続のゼロと公表、入所希望者（2万2,324人）が前年比248人減となり2008年以降初の減少	2	◆秋田県秋田市、風力発電の風車の羽根落下事故発生	6	◆ドイツ連邦議会（下院）、2回投票の末、第1党の保守、キリスト教民主・社会同盟（CDU・CSU）のフリードリヒ・メルツ氏、首相選出
	9	◆労働者健康安全機構（神奈川県川崎市）、東北労災病院（仙台市青葉区）の富谷市への移転断念	12	◆財務省、2024年度国際収支速報公表、経常収支黒字額30兆3,771億円（前年度比16.1%増）、過去最大を2年連続更新	8	◆第267代ローマ教皇に米国出身のロバート・フランシス・ブレボスト枢機卿「レオ14世」選出
	9	◆内閣府、「アジア太平洋防災閣僚級会議」が仙台市で2027年秋に開催と発表	16	◆内閣府、2025年1~3月期国内総生産（GDP、季節調整済）速報値公表、実質で前期比0.2%減、年率換算0.7%減、1年ぶりのマイナス成長	12	◆米中、相互関税115%引き下げ合意
	9	◆仙台国際空港（名取市）、大型連休期間（4月25日~5月6日）の旅客数（速報値）公表、国内線は前年同期比2,045人（1.9%）減の10万3,803人、国際線は同7,152人（61.3%）増の1万8,814人	21	◆2024酒造年度全国新酒鑑評会、金賞受賞数発表、福島県と兵庫県で最多16銘柄、福島は3年ぶりの日本一	13	◆ウルグアイ、「世界一貧しい大統領」ホセ・ムヒカ元大統領（89歳）死去
	19	◆仙台市、2024年仙台市内宿泊者数公表、650万8,856人、うち外国人宿泊者数55万1,822人、ともに過去最多	22	◆厚生労働省、2024年度毎月勤労統計調査（確報）公表、実質賃金（1人当たり）月平均が前年度比0.5%減と3年連続マイナス	14	◆国連児童基金（ユニセフ）、先進・新興国の「子どもの幸福度」調査報告書公表、総合順位1位オランダ、2位デンマーク、3位フランス、日本14位（36カ国中）
	31	◆宝石販売店「三原堂」（仙台市青葉区）閉店	23	◆農林水産省、2025年主食用米の作付け動向（4月末時点）公表、24年産実績比増加は34道県	16	◆米ムーディーズ・レーティングス、米国の信用格付け「トリブルA」から「ダブルA1」と1段階引き下げ
			26	◆法務省、改正戸籍法施行	22	◆米国土安全保障省、ハーバード大の留学生受け入れ資格取り消し決定
			26	◆日本郵便、新サービス「デジタルアドレス」導入		
			27	◆財務省、対外純資産残高（2024年末時点）公表、533兆500億円（前年末比12.9%増）、ドイツに抜かれ34年ぶり首位陥落		
			28	◆日本相撲協会、大の里、第75代横綱誕生		
6	2	◆香港航空、仙台-香港線（週3往復）10月25日まで全便一時運休	1	◆懲役と禁錮を廃止し「拘禁刑」に一本化する改正刑法施行	3	◆韓国大統領選、最大野党「共に民主党」の李在明前代表、当選確実
	2	◆東北大金属材料研究所（仙台市青葉区）、スーパーコンピューティングシステム「MASAMUNE-2」稼動	2	◆財務省、1~3月期法人企業統計公表、全産業（金融・保険業除く）の設備投資18兆7,975億円（前年同期比6.4%増）と2四半期ぶりプラス	11	◆ビーチ・ボーアのボーカリスト・ブライアン・ウィルソンさん（82歳）死去
	2	◆愛称「黒ビル」仙台第一生命ビル（仙台市青葉区）、解体工事開始	3	◆ミスターP野球・長嶋茂雄さん（89歳）死去	12	◆インド西部、エア・インディアの旅客機、墜落事故発生、200人超死亡
	2	◆多賀城市、多賀城創建1300年記念事業の参加者総数53万9,061人、経済効果（推計）90億超と公表	4	◆厚生労働省、2024年出生数公表、68万6,061人、前年比4万1,227人（5.7%）減と全都道府県で減少	13	◆イスラエル軍、イランの核関連施設など空爆
			4	◆厚生労働省、合計特殊出生率1.15と公表、過去最低更新	16	◆カナダ西部、先進7カ国首脳会議（G7サミット）開幕
					24	◆米大リーグ・大谷翔平選手、日米通算300本塁打記録達成、日本人選手で3人目

月	日	宮城県内	国 内		日	海 外
			日	内		
6	2	◆気仙沼市、企業向け就労環境改善相談窓口「気仙沼JO B B A S E (ジョブベース)」開設	5	◆任天堂、新型家庭用ゲーム機「ニンテンドースイッチ2」発売	29	◆中国税関総署、日本産水産物輸入2年ぶり再開、対象外10都県
	5	◆JR仙石線、開業100周年	9	◆内閣府、2025年1~3月期の国内総生産(GDP、季節調整済)改定値公表、実質で前期比0.04%減、年率換算0.2%減、速報値から上方修正		
	15	◆第74回全日本大学野球選手権、東北福祉大学が7年ぶり4度目の優勝	16	◆農林水産省、コメ作況指数廃止		
	23	◆仙台国際空港(名取市)、2024年度決算発表、純利益5億5,200万円と過去最高、旅客数377万8,000人(前年度比6.4%増)と過去最多	29	◆三菱重工業、国産大型ロケット「H2A」の最終50号機打ち上げ成功		
	25	◆大東建託(東京都)、「いい部屋ネット街の住みこちランキング2025(東北6県)」発表、富谷市が6年連続1位	30	◆動画投稿アプリ「TikTok(ティックトック)」、インターネット通販機能の提供開始		
	28	◆韓国・ヒョンデ(現代)、正規ショールーム「ヒョンデシティストア仙台」(仙台市泉区)オープン、東北初進出	30	◆調査会社インテージ(東京都)、2025年上半期の日用品販売ランキング発表、コメ(前年同期比84%増)が首位		
	30	◆東松島市図書館、大規模改修工事を経てリニューアルオープン	30	◆JR東日本、寝台特急「カシオペア」運行終了		
7	1	◆石巻市立牡鹿病院、オンライン診療開始	1	◆仙台国税局、東北の路線価(1月1日時点)公表、標準宅地の評価基準額の平均変動率1.8%(前年比横ばい)、青森(同0.5%)がプラスに転じ全県で上昇	5	◆中国・上海、屋外型テーマパーク「レゴランド上海リゾート」オープン
	1	◆仙台国税局、宮城県の路線価公表、平均変動率4.4%と上昇率全国4位	1	◆自販連、2025年上半期(1~6月)国内新車販売台数発表、234万5,459台(前年同期比10.2%増)と2年ぶり増加	5	◆米実業家イーロン・マスク氏、新党「アメリカ党」設立
	4	◆JR東日本、東北本線に特急列車「イブニングウェイ」運行開始	3	◆鹿児島県十島村・悪石島、震度6弱の地震発生	9	◆米エヌビディア、時価総額が一時4兆ドル(約585兆円)突破、4兆ドル超は世界の上場企業で初
	5	◆ゼビオアリーナ仙台(仙台市太白区)、通年型スケートリンク新設しリニューアルオープン	15	◆福島県猪苗代湖(猪苗代町、郡山市、会津若松市)、ラムサール条約登録	10	◆韓国・尹錫悦前大統領、再逮捕
	16	◆仙台国際空港(名取市)、仙台-高雄(台湾)線初就航	20	◆第27回参院選、自民、公明両党大敗、参院全体の過半数割れ	17	◆南アフリカ、20カ国・地域(G20)財務相・中央銀行総裁会議開幕
	23	◆(福)ありのまま舎創設「ありのまま自立大賞」、27年の歴史に幕	25	◆大型テーマパーク「JUNGLIA OKINAWA(ジャングリア沖縄)」(沖縄県今帰仁村)開業	22	◆英ミュージシャン・オジー・オズボーンさん(76歳)死去
	31	◆気仙沼市、2024年度ふるさと納税額が全国第10位(122億円)と発表	25	◆北海道庁旧本庁舎「赤れんが庁舎」(札幌市)、改修工事を経て6年ぶり再オープン	24	◆米プロレスラー・ハルク・ホーガンさん(71歳)死去
			30	◆ロシア・カムチャツカ半島の地震の影響で岩手県久慈港(1.3m)など22都道府県に津波到達	30	◆ロシア・カムチャツカ半島、マグニチュード(M)8.7(推定)の地震発生
					31	◆ミャンマー軍事政権、非常事態宣言解除、4年半ぶりの解除

月	日	宮城県内	国 内		海 外	
			日	内	日	外
7			30	◆兵庫県丹波市柏原、最高気温 41.2 度観測、国内最高気温更新		
			31	◆総務省、2024 年度ふるさと納税寄付額公表、総額 1 兆 2,728 億円と 5 年連続過去最高更新		
8	3	◆仙台市長選、無所属現職・郡和子氏当選	4	◆農林水産省、2025 年上半期（1～6 月）農林水産物・食品の輸出額公表、8,097 億円（前年同期比 15.5% 増）と上半期として過去最高	7	◆トランプ米政権、新「相互関税」適用開始、約 70 の国・地域への税率 10%～41%、他の国は一律 10%、日本に 15% の関税を上乗せ
	8	◆宮城地方最低賃金審議会、2025 年度最低賃金（時給）を現行（973 円）比 65 円増の 1,038 円と宮城労働局に答申	6	◆総務省、人口動態調査（1 月 1 日時点）公表、日本人は前年比約 90 万 8 千人（0.75%）減の 1 億 2,065 万 3,227 人	12	◆韓国・尹錫悦前大統領の妻・金建希氏、逮捕
	8	◆アンテナショップ「宮城ふるさとプラザ」（東京都千代田区有楽町）、常設店舗としてオープン	8	◆国土交通省、総務省、限界集落数（2024 年 4 月時点）公表、3 万 1,515 集落、前回調査（2019 年 4 月）比約 9 千集落増	18	◆中国政府、2025 年上半期（1～6 月）婚姻件数 353 万 9 千組（前年同期比 10 万 9 千組増）と公表
	20	◆JA 全農みやぎ、2025 年産米の概算金決定、ひとめぼれ（60 ‰、1 等米）が前年比 69.6%（1 万 1,500 円）増の 2 万 8,000 円、主要 4 銘柄 4 連続引き上げ	10	◆J リーグ G 大阪元監督・釜本邦茂さん（81 歳）死去	31	◆アフガニスタン東部、マグニチュード（M）6.0 の地震発生、800 人超死亡
	20	◆県、「インドネシア人材みやぎジョブフェア 2025」開催	10	◆九州地方、大雨の影響で土砂崩れや河川氾濫の被害多数発生		
	27	◆県教委、2025 年度学校基本調査（速報値）公表、小学校児童数（5 月 1 日現在）10 万 3,294 人（前年度比 3,168 人減）、中学校生徒数（5 月 1 日現在）5 万 5,597 人（同 462 人減）と過去最少	15	◆内閣府、2025 年 4～6 月期国内総生産（GDP、季節調整済）速報値公表、実質 GDP 前期比 0.3% 増と 5 四半期連続プラス成長、年率換算 1.0% 増		
			20	◆神奈川県横浜市、「アフリカ開発会議（TICAD）」開幕		
			20	◆秋田県仙北市、大雨の影響で河川氾濫災害等発生		
			27	◆三菱商事、秋田、千葉両県沖洋上風力発電所の建設計画撤退発表		
9	1	◆川崎町、デマンド型乗り合いタクシーの実証実験開始	1	◆財務省、4～6 月期法人企業統計公表、製造業経常利益前年同期比 11.5% 減の 11 兆 2,674 億円と 2 四半期連続マイナス	1	◆ロシア・北極南極学術調査研究所、世界最大の氷山「A23a」面積（約 2,200 km²）、6 月比 36% 縮小と発表
	1	◆気象庁、6～8 月の平均気温公表、仙台 25.8 度（平年比 +3.7 度）、石巻 24.3 度（同 +3.0 度）	1	◆気象庁、6～8 月の平均気温公表、平年比 +2.36 度と 1898 年の統計開始以降で最高	3	◆ボルトガル・リスボン、ケーブルカー脱線事故発生、16 人死亡
	2	◆仙台管区気象台、仙台の最高気温 37.4 度と 1926 年の統計開始以来最高気温観測	2	◆秋田県、記録的大雨により 8 河川氾濫、浸水被害発生	4	◆デザイナー・ジョルジオ・アルマーニさん（91 歳）死去
	2	◆一條旅館（白石市）の高価格帯リゾートホテル「THE YUKAWA 一條支店」、グランドオープン	2	◆俳優・吉行和子さん（90 歳）死去	6	◆男子テニス・小田凱人選手（19 歳）、全米オープン車いすの部で初優勝、「生涯ゴールデンスラム（GS）」史上年最少達成
	2	◆森記念財団（東京都港区）、2025 年日本の都市ランキング発表、仙台市 7 位（昨年 9 位）	4	◆歌手・橋幸夫さん（82 歳）死去	7	◆タイ、「タイの誇り党」アヌティン党首、首相就任

月	日	宮 城 県 内		国 内		海 外	
		日	日	日	日	日	日
9	6	◆東日本大震災伝承施設「南三陸311メモリアル」（南三陸町）、来館者30万人達成		5	◆厚生労働省、最低賃金（時給）2025年度改定額公表、全国平均1,121円（現行比66円増）、全都道府県で時給千円超	9	◆カタール・ドーハ、イスラエル軍が空爆攻撃、5人死亡
	9	◆新沢醸造店（大崎市）、英インターナショナル・ワイン・チャレンジ（IWC）のサケ・ブリュワリー・オブ・ザ・イヤー4年連続受賞		5	◆パラ競泳女子・成田真由美さん（55歳）死去	16	◆米トランプ大統領、日本車関税、27.5%から15%に引き下げ
	12	◆JA全農みやぎ、2025年産米の概算金追加払い決定、ひとめぼれを含む主要4銘柄に3,000円を追加		7	◆石破茂首相、退陣表明	16	◆米俳優・ロバート・レッドフォードさん（89歳）死去
	13	◆子育て支援団体みなはぴ（南三陸町）、子どもたちの第三の居場所「わらっこ」開設		9	◆農林水産省、後継者未定農地、17都府県で5割超と公表	16	◆米大リーグ・大谷翔平選手、メジャー史上6人目となる2年連続のシーズン50本塁打到達
	16	◆県、基準地価（7月1日時点）公表、平均変動率住宅地+0.9%、商業地+4.0%		12	◆観光物産施設「いわき・ら・ら・ミュウ」（福島県いわき市）、道の駅としてグランドオープン	19	◆米アップル、新型アイフォーン「17」シリーズ発売
	16	◆気仙沼港、高級大型クルーザー「スーパーヨット」初入港		16	◆国土交通省、基準地価（7月1日時点）公表、全国平均変動率、住宅地+1.0%、商業地+2.8%、全用途+1.5%	23	◆韓国、世界平和統一家庭連合（旧統一教会）総裁・韓鶴子氏逮捕、政治資金法違反容疑
	20	◆ナイアンティック（東京都）、参加型イベント「ピクミンブルームジャーニー2025仙台」開催		19	◆厚生労働省、スマホ保険証の利用開始	23	◆台湾・花蓮県、台風の影響で洪水し冠水事故等発生、17人死亡
				19	◆積水ハウス（大阪府）、「男性育休白書2025」都道府県ランキング発表、首位は沖縄県、宮城は8位	30	◆フィリピン・セブ島沖、マグニチュード（M）6.9地震発生、69人死亡、負傷者200人超
				19	◆宮内庁、「香淳皇后実録」完成		
				20	◆総務省、国勢調査スタート		
				25	◆次世代技術実証都市「ウーブン・シティ」（静岡県裾野市）始動		
				30	◆プロ野球・田中将大投手、日米通算200勝達成		
10	1	◆名取市役所、窓口受付時間を1時間15分短縮運用		1	◆愛知県豊明市、スマホ条例施工	1	◆米政府、予算失効し政府機関が一部閉鎖
	1	◆仙台市沿岸部など、局地的豪雨により住宅などの浸水被害発生		1	◆法務省、東京都の一部の公証役場にて公正証書のデジタル化開始	6	◆スウェーデン・カロリンスカ研究所、2025年ノーベル生理学・医学賞、坂口志文氏と米国の2氏に授与と発表
	2	◆仙台港（仙台市宮城野区）、大型クルーズ船「飛鳥Ⅲ」（5万2,265トン）初寄港		1	◆日銀、9月の企業短期経済観測調査（短観）公表、大企業製造業の業況判断指數（DI）前回調査比+1.1%の+14と2四半期連続の改善	8	◆スウェーデン・王立科学アカデミー、2025年ノーベル化学賞、北川進氏ら3氏に授与と発表
	3	◆航空会社スターフライヤー（福岡県）、仙台－福岡線新規就航		1	◆エスパシオエンタープライズ（愛知県）、高級ホテル「エスパシオナゴヤキャッスル」開業	9	◆中国交通運輸省、国慶節（建国記念日）の大型連休（1～8日）移動人数公表、延べ24億3,200万人と過去最多更新
	4	◆県、「第48回全国育樹祭」（国土緑化推進機構）初開催		10	◆公明党、自民党との連立政権離脱	10	◆ノルウェー・ノーベル賞委員会、2025年ノーベル平和賞にベネズエラ野党指導者・マリア・コリナ・マチャド氏に授与と発表
	6	◆塩釜市営汽船「しおじ」、老朽化のため航行終了		10	◆農林水産省、2024年度食料自給率（カロリーベース）公表、4年連続38%		◆イスラエル、イスラム組織ハマスが人質20人全員解放と発表
	8	◆大型商業施設「イオンモール仙台上杉」（仙台市青葉区）開業		13	◆大阪・関西万博、閉幕	13	◆フランス・ルーブル美術館、歴史的宝飾品8点強盗事件発生
	10	◆石巻港、外航クルーズ船「シーボーン・クエスト」（3万2,477トン）初寄港		14	◆日本国際博覧会協会、大阪・関西万博の一般来場者総数（確定値）2,557万8,986人と発表	19	◆マレーシア・クアラルンプール、東アジアサミット（EAS）首脳会議開幕
	15	◆仙台市、改正鳥獣保護管理法の緊急獣銃制度に基づきクマ駆除、全国初		15	◆政府、2025年1～9月の訪日外国人客数（累計）公表、前年同期比17.7%増の3,165万500人（推計）、年間3千万人を最速突破	27	
	22	◆ドン・キホーテ（東京都）、Z世代向け「キラキラドンキ」（仙台市太白区）オープン、東北初出店					

月	日	宮 城 県 内	国 内		海 外	
			日	内	日	外
10	25	◆宮城交通（仙台市）、定期観光バス「松島紅葉めぐり」運行、東日本大震災以来 14 年ぶり復活	17	◆元首相・村山富市さん（101 歳）死去	27	◆カメリーン大統領選、世界最高齢の国家元首ボル・ビヤ大統領再選、8 選
	25	◆アイベックスエアラインズ（東京都）、仙台－福岡線、1 日 5 往復から 3 往復に減便	21	◆政府、自民党の高市早苗総裁、第 104 代首相選出、初の女性首相就任	29	◆米連邦準備制度理事会（FRB）、主要政策金利 3.75～4.0% と 2 会合連続の 0.25% 利下げ決定
	26	◆県知事選、現職の村井嘉浩氏当選、県政史上最多の 6 選	22	◆財務省、2025 年度上半期（4～9 月）貿易統計（速報、通関ベース）公表、対米輸出額 9 兆 7,115 億円（前年同期比 10.2% 減）	30	◆英王室、チャールズ国王弟アンドルー王子の称号「王子」剥奪
	29	◆文部科学省、県の 2024 年度不登校児童生徒数（1 千人当たり）47.0 人と公表、全国 5 番目	22	◆観光局、「2026 年に行くべき世界の旅行先 25 選」（米ナショナルジオグラフィック）で山形県が選出と発表		
	30	◆ワカキグループ（角田市）、亘理郡初の本格ホテル「グリーンホテル亘理」開業	24	◆東北電力（仙台市）、液化天然ガス（LNG）を燃料とする同社初石炭輸送船「SAKURA CRESCENT（サクラ・クレセント）」運行開始		
	31	◆温泉宿泊施設「白石温泉 葉師の湯」（白石市）、施設老朽化により閉館	26	◆宇宙航空研究開発機構（JAXA）、新型無人補給機「HTV-X」1 号機打ち上げ成功		
			27	◆東京株式市場、日経平均株価（225 種）終値 5 万 512 円 32 銭、初の 5 万円突破		
			28	◆政府、高市早苗首相と米トランプ大統領、初の首脳会談開催		
11	1	◆村田町、町制施行 130 年	1	◆JR山手線、環状運転 100 年	1	◆米大リーグ・ドジャース、ワールドシリーズ 2 連覇達成、最優秀選手（MVP）に山本由伸投手
	1	◆スクウェア・エニックス（東京都）、ユーザー参加型イベント「ドラゴン・クエストウォーキング」、仙台市で開催	4	◆防衛省、陸上自衛隊によるクマ被害対策支援活動、秋田県鹿角市で開始	1	◆エジプト・カイロ近郊、「大エジプト博物館」正式開館、日本が建設支援
	2	◆ゆりあげ港朝市メイプル館（名取市）、大阪・関西万博のカナダパビリオンで使用の国名サイン移設	4	◆厚生労働省、人口動態統計（概数）公表、2025 年上半期（1～6 月）出生数、前年同期比 3.3% 減の 31 万 9,079 人	3	◆アフガニスタン北部、マグニチュード（M）6.3 地震発生
	4	◆旧さくら野百貨店仙台店（仙台市青葉区）解体作業開始	4	◆全国さんま棒受網漁業協同組合、サンマ水揚漁獲量（2025 年 8～10 月）発表、前年同期比約 1.5 倍の 4 万 5,560 トン	3	◆元米副大統領・ディック・チエイニーさん（84 歳）死去
	5	◆南三陸町長・佐藤仁氏、退任	6	◆本の週刊チャート「JAPAN Book Hot 100」（ビルボードジャパン）開始	4	◆米ニューヨーク市長選、急進左派ゾーラン・マムダニ氏当選
	13	◆パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス（PPIH、東京都）、旧さくら野仙台店の再開発計画断念と発表	8	◆環境省、2025 年度上半期（4～9 月）クマ出没件数（速報値）公表、2 万 792 件と過去 5 年間の同期比で最多	4	◆フィリピン、台風 25 号による被害多数発生、大統領「国家災害事態」宣言
	16	◆観光トレッキング「宮城オルレ」の新コース「多賀城コース」オープン、認定 7 番目	8	◆俳優・仲代達矢さん（92 歳）死去	12	◆世界知的財所有権機関（WIPO）、2024 年世界特許出願件数公表、約 372 万 5 千件（前年比 4.9% 増）と過去最多、首位は中国（約 180 万件）
	19	◆大東建託（東京都）、「住み続けたい街ランキング」「街の幸福度ランキング」発表、富谷市が 2 年連続 2 冠達成	9	◆岩手県三陸沖、マグニチュード（M）6.9 地震発生	12	◆米、政府機関の一部閉鎖解除、閉鎖から 43 日目
	26	◆プロ野球・東北楽天、前田健太投手と契約合意	11	◆財務省、2025 年度上半期（4～9 月）国際収支速報公表、経常収支 17 兆 5,128 億円（前年同期比 14.1% 増）の黒字		

月	日	宮城県内	国 内		海 外	
			日		日	
11			15	◆聴覚障害者の国際スポーツ大会「東京デフリンピック」開幕、日本初開催	13	◆米大リーグ・大谷翔平選手、ナショナル・リーグの最優秀選手（MVP）選出、3年連続4度目
			17	◆内閣府、2025年7～9月期の国内総生産（GDP、季節調整済）速報値公表、実質前期比0.4%減、年率換算1.8%減、1年半ぶりのマイナス成長	22	◆南アフリカ・ヨハネスブルク、20カ国・地域首脳会議（G20サミット）開幕
			18	◆大分県大分市、大規模火災発生	26	◆香港北部、高層住宅群の大規模火災事故発生
			25	◆熊本県阿蘇地方、マグニチュード（M）5.8地震発生	26	◆インドネシア、豪雨による洪水被害等発生
			26	◆「東京デフリンピック」閉幕、日本選手団計51個（金16、銀12、銅23）メダル獲得		

資料：河北新報ほか

77R&C

編集
後記

～どう考えても「米」・「高」の2025年～

今年の漢字1字は「熊」だそうですがあまりにひねりがなく、経済に関しては次点以下の「米」「高」のほうがハマります。米国関税に振り回され、米騒動も物価高も収まらず、不満が高じて誕生した新米首相・高市首相の高圧経済が株高と金利高を引き起こしました。勢い余って中国との緊張まで高まり訪日高額消費は減退、物価高対策もお米券をはじめ古古古米レベルのクラシックなバラマキ中心で、高まる緊張は金融市場も同様です。来年は「タカ」をくくらず、干支の通り「ウマ」く対処するよう願いを「コメ」たいです。 (田口 勝友)